本文

官報　第八千五百五十四號　明治四十四年十二月二十三日　土曜日　印刷局

○勅令

朕明治三十二年勅令第三百七十四號中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十四年十二月二十二日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望
内務大臣　原敬
大藏大臣　山本達雄

勅令第二百八十八號

明治三十二年勅令第三百七十四號中左ノ通改正ス

第一條中「所有者ヲ」所有者又ハ納稅義務者ニ改ム

第三條　本令ニ依ル地租其ノ他ノ公課ノ免除又ハ輕減ハ免除又ハ輕減ノ申請ノ日以後ニ開始スヘキ納期分ヨリ免除ニ付テハ一定ノ行爲ノ禁止又ハ制限ノ解除ニ因リ地價ヲ設定シタル日輕減ニ付テハ一定ノ行爲ノ禁止又ハ制限ノ解除ノ日以前ニ開始シタル納期分迄トス

附則

本令ハ明治四十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

朕樺太官有財産管理規則ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十四年十二月二十二日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望
大藏大臣　山本達雄

勅令第二百八十九號

樺太官有財産管理規則

第一條　本令ニ於テ官有財産ト稱スルハ國有ノ不動産、船舶及其ノ附屬物ヲ謂フ

第二條　樺太廳長官所轄ノ官有財産ハ本令ニ依リ樺太廳長官之ヲ管理及處分ス

第三條　公用中ノ官有財産ハ賣拂、貸付、讓與又ハ交換スルコトヲ得ス

前項ノ官有財産ハ公用ヲ妨ケサル場合ニ限リ其ノ使用ヲ許可スルコトヲ得

第四條　官有財産ハ其ノ管理又ハ處分ニ關係アル職員ニ對シ之ヲ賣拂、貸付、讓與又ハ交換スルコトヲ得ス

第五條　官有財産ノ賣拂又ハ貸付ハ左ノ場合ニ限リ隨意契約ニ依ルコトヲ得

一　公用ニ供シ又ハ公共ノ利益ト爲ルヘキ事業ニ供スル爲公共團體又ハ其ノ起業者ニ賣拂又ハ貸付スルトキ

二　鑛業、漁業又ハ林業ニ直接附隨シテ必要ナル土地又ハ工作物ヲ其ノ起業者ニ賣拂又ハ貸付スルトキ

三　官設事業ニ直接附隨スル事業ノ爲必要ナル土地又ハ工作物ヲ其ノ起業者ニ貸付スルトキ

四　移住民ニ對シ其ノ居住上必要ナル土地又ハ工作物ヲ賣拂又ハ貸付スルトキ

五　一箇所ニ付二百坪以下ニシテ評定價額五百圓以下ノ土地ヲ賣拂フトキ

六　一箇所ニ付二百坪以下ニシテ一年ノ見積貸付料百圓以下ノ土地ヲ五年內ノ期間ヲ以テ貸付スルトキ

第六條　官有財産ヲ賣拂ヒタルトキハ其ノ代金完納後ニ非サレハ之ヲ引渡スコトヲ得ス

第七條　官有財産ハ無料ニテ貸付シ又ハ使用ヲ許可スルコトヲ得ス但シ左ニ掲クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

本文 8554 号

一　公用ニ供シ又ハ營利ヲ目的トセサル公共ノ利益ト爲ル…キ事業ノ爲必要ナルトキ

二　移住民ニ對シ其ノ居住上必要ナル土地又ハ工作物ヲ貸付スルトキ

第八條　官有財産ノ貸付料又ハ使用料ハ毎年之ヲ前納セシムヘシ但シ相當ノ保證ヲ立テ又ハ擔保ヲ供シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條　官有財産ノ貸付ハ左ノ期間ヲ超ユルコトヲ得ス

一　土地ハ二十年

二　其ノ他ノ物件ハ三年

土地利用ノ爲必要ナル定著物ヲ土地ト共ニ貸付スルトキハ其ノ土地ノ貸付期間之ヲ貸付スルコトヲ得

第十條　官有財産ノ貸付期間中公用ニ供スル必要ヲ生シタルトキハ貸付ノ契約ヲ解除シ之ヲ返還セシムヘシ

前項ノ場合ニ於テ借受人ハ直接ニ受ケタル損害ニ付其ノ賠償ヲ求ムルコトヲ得但シ特別ノ契約アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十一條　官有財産ハ讓與スルコトヲ得ス但シ左ニ揭ク場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　公用ニ供シ又ハ營利ヲ目的トセサル公共ノ利益ト爲ル…キ事業ニ供スル爲公共團體又ハ其ノ起業者ニ下付スルトキ

二　公園道路河川隄防溝渠又ハ溜池ヲ開設シタル爲不用ニ歸シタル舊同種類ノ土地ヲ其ノ開設者ニ下付スルトキ

三　公用ヲ廢シタル土地ヲ其ノ公用中維持保存ノ費用ヲ負擔シタル者ニ下付スルトキ

第十二條　官有財産ハ交換スルコトヲ得ス但シ土地建物ハ左ニ揭ク場合ニ限リ其ノ評定價額同一以上ノ土地建物ト交換スルコトヲ得

一　公用ニ供シ又ハ公共ノ利益ト爲ルヘキ事業ノ爲必要ナルトキ

二　官有地整理ノ爲必要ナルトキ

第十三條　左ノ場合ニ於テハ官有財産ノ賣拂、讓與、交換又ハ貸付ノ契約ヲ解除スルコトヲ得

一　公用ニ供シ又ハ公共ノ利益ト爲ルヘキ事業ニ供スル爲賣拂、讓與、交換又ハ貸付ノ契約ヲ解除シタル官有財産ヲ二年內ニ其ノ用途ニ供セサルトキ

二　第五條第二號乃至第四號ノ規定ニ依リ賣拂又ハ貸付シタル官有財産ヲ二年內ニ豫定ノ用途ニ供セサルトキ

三　賣拂代金又ハ貸付料金ヲ指定ノ期間內ニ完納セサルトキ

第十四條　官有水面ハ公用ニ妨ナキ部分ニ限リ著手及成功ノ期限竝一切ノ條件ヲ定メ其ノ埋立ヲ特許スルコトヲ得

第十五條　前條ノ場合ニ於テハ全部成功ノ後道路、溝渠等公用ニ供スル部分ヲ除クノ外其ノ成功地ヲ事業者ニ賣拂、讓與又ハ貸付スヘキコトヲ豫約スルコトヲ得

第十六條　官有水面埋立ノ特許ヲ受ケタル者指定ノ期間內ニ其ノ事業ニ著手又ハ成功セサルトキハ其ノ特許ヲ取消スヘシ但シ天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ因リ指定ノ期間內ニ著手又ハ成功セサルトキハ半期間內ノ延期ヲ爲スコトヲ得

第十七條　前條ノ規定ニ依リ特許ヲ取消シタル場合ニ於テ水面又ハ土地ノ狀況ニ依リ支障ナシト認ムルトキハ成功地ノ一部又ハ全部ヲ其ノ事業者ニ賣拂讓與又ハ貸付スルコトヲ得

第十八條　樺太廳長官ハ明治四十四年四月一日ヨリ起算シ十年毎ニ其ノ年三月三十一日現在ノ官有財産目錄ヲ調製シ六月三十日迄ニ之ヲ主管大臣ニ報告スヘシ

第十九條　樺太廳長官ハ毎年前會計年度ニ於ケル官有財産ノ增減異動報告書ヲ調製シ六月三十日迄ニ之ヲ主管大臣ニ報告スヘシ

第二十條　前二條ノ官有財産目錄及官有財産增減異動報告書ハ主管大臣ニ於テ其ノ調製シタル年開會ノ帝國議會ニ之ヲ報告スヘシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

樺太國有土地管理規則ハ之ヲ廢止ス但シ同令ニ依リ貸付シタル土地ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

官有財産目錄ハ第十八條ノ規定ニ依リ調製スルノ外本令施行ノ日ヨリ三年內ニ第一回ノ調製ヲ爲スヘシ

朕樺太國有未開地特別處分令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十四年十二月二十二日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

大藏大臣　山本達雄

勅令第二百九十號

樺太國有未開地特別處分令

第一條　樺太國有未開地ノ賣拂又ハ貸付ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

一　第一條第一號又ハ第二號ノ規定ニ依リ賣拂又ハ貸付シタル土地ヲ二年內ニ豫定ノ用途ニ供セサルトキ

二　第一條第三號ノ規定ニ依リ貸付シタル土地ヲ一年內ニ豫定ノ用途ニ供セサルトキ

三　特定地ノ貸付ヲ受ケタル者一年內ニ豫定ノ事業ニ著手セサルトキ

四　特定地ノ貸付ヲ受ケタル者其ノ貸付地ヲ放棄シタルトキ

五　賣拂、讓與又ハ貸付ノ際定メタル條件ニ違背シタルトキ

第十一條　未開地ノ賣拂又ハ有償貸付ノ契約ヲ解除シタル場合ニ於テハ既納ノ賣拂代金又ハ貸付料金ハ之ヲ還付セス

第十二條　特定地貸付ノ契約ヲ解除シタル場合ニ於テ既ニ成功シタル部分アルトキハ拓殖又ハ土地整理上支障ナシト認ムル場合ニ限リ成功地ノ一部又ハ全部ヲ其ノ借受人ニ賣拂又ハ讓與スルコトヲ得

第十三條　未開地ノ賣拂、讓與又ハ貸付ノ契約ヲ解除シタル場合ニ於テハ既ニ伐採シタル樹木アルトキハ前條ノ規定ニ依リ賣拂又ハ讓與スル土地ノ區域內ニ關スルモノヲ除クノ外其ノ相當代價ヲ辨償セシムヘシ借受人カ自己ノ便宜ニ依リ其ノ貸付地ヲ返還シタルトキ亦同シ

前項ノ辨償金額ハ樺太廳長官ノ選定シタル評價人ノ定ムル所ニ依ル

第十四條　拓殖又ハ土地整理上必要アルトキハ既ニ開墾セラレタル部分ヲ含ム土地ト雖本令ニ依リ之ヲ管理及處分スルコトヲ得

第十五條　未開地ニ關シテハ本令ニ定ムルモノノ外樺太官有財産管理規則ニ依ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

樺太官有財産管理規則第十八條乃至第二十條ノ規定ハ當分ノ內未開地ニ之ヲ適用セス

○告示

海軍省告示第十二號

本月十八日海軍省告示第十一號海軍經理學校生徒志願者心得中左ノ通追加ス

明治四十四年十二月二十三日　海軍大臣　男爵齋藤實

第二十四條　第二十二條ノ召集ニハ本人ノ住所（受驗當時ノ住所）ヨリ海軍經理學校マテノ里程ニ應シ相當ノ旅費ヲ給ス

第8554号

農商務省告示第六百四號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十四年十二月二十三日　農商務大臣　男爵牧野伸顯

縣	郡	村	大字	字	地番	面積
茨城	那珂	額田	額田南郷	小堤	五九六	登記歩 一八〇二ノ内 實測 二九〇二

遞信省告示第千五百四十六號

明治四十三年十一月遞信省令第百十六號電氣計器試驗規則第二條ニ依リ左記電氣計器ノ型式ヲ承認ス

明治四十四年十二月二十三日　遞信大臣　伯爵林董

型式第六號

計器名　交流「エレクトリシチー、メーター」LJa型

製造者名　「アルゲマイネ、エレクトリチテーツ、ゲゼルシヤフト」

計器說明書

本計器ハ單相交流二線式若ハ三線式ノ電路ニ於テ計器ニ規定シアル電壓電流周波數ニ從ヒ無誘導竝誘導負荷ノ下ニ使用セラルヘキモノトス

本計器ハ誘導型ニシテ其ノ動作裝置ノ全部ハ角形鐵板製外函內ニ扭ヲ止シタル鐵製枠組ニ依リ支持セラレ木綿打紐ノ「パッキング」ニ依リ無磁金屬製外蓋ヲ以テ完全ニ密閉セラル外蓋ノ前面ニハ計器ノ名稱、番號、製造者名及計器ノ規定動作條件ヲ表示セル銘板ヲ附著シ且「キロワット」時數指示盤及圓板ノ回轉ヲ視ルニ便ナラシムルカ爲ニ個ノ矩形硝子窓ヲ有ス又外函ノ下部ハ端子函ヲ形成シ其ノ上面ニ蓋ヲ備ヘ計器ノ動作部分ニ關係ナク其ノ端子ニ接近シ得ヘカラシム

本計器ノ動作裝置ハ左記五個ノ主要部分ヨリ成立ス

一　電流及電壓捲線

二　回轉圓板

三　制動磁石

四　負荷調整裝置

五　「キロワット」時數指示裝置

一　電流及電壓捲線

本計器ニハ後方中央部ニ於テ山字形ノ薄鐵板ヲ重ネ作ラレタル鐵心ヲ備ヘ其ノ中央ノ肢腕ニ電流捲線ヲ又其ノ兩側ノ肢腕ニハ電壓捲線ヲ裝置ス電流捲線ハ二組ノ線輪ヨリ成リ兩者端子函內ニ於テ電路ニ適宜ナル接續ヲナスコトヲ得又電壓捲線ノ二個ノ線輪ハ計器ノ內部ニ於テ直列ニ接續セラル山字形鐵心ノ上方ニ於テ空隙ヲ隔テテ薄鐵板ニテ造ラレタル繼鐵アリ該繼鐵ハ其ノ位置ヲ調整シ得ヘク主トシテ電流捲線ノ磁路ヲ形成ス又山字形鐵心ノ後方圓板ノ下部ニ於テ別個ノ薄鐵板製ノ繼鐵ヲ備ヘ無磁性金具ニ依リ鐵心ノ兩側ノ肢腕ニ固定ス兩繼鐵中前者ハ鐵心ニ對シ比較的大ナル空隙ヲ有スルヲ以テ電流捲線ノ殆ト無誘導ナルニ反シ後者ハ鐵心ノ外側ノ兩肢ニ少許ノ間隙ヲ以テ相接シ殆ト完全ニ電壓捲線ノ磁路ヲ形成スルヲ以テ同捲線ニ流ルル電流ハ供給電壓ニ對シ九十度ニ近ク相差ヲ有ス尙電流捲線ノ鐵心ニハ別個ノ鐵片ヲ附シ以テ磁力線ノ肢路ヲ作リ該鐵片ニ位置ヲ調整シ得ヘキ短絡金屬片ヲ扭ヂ止メ裝置シ電壓及電流捲線ニ依リテ生スル有效ナル磁力線ニ適當ナル相差ヲ與フルコトヲ得

二　回轉圓板

山字形鐵心ト繼鐵トノ空隙ニ「アルミニューム」製薄圓板アリ捲線ノ作ル磁力線及之ニ因リ圓板ニ誘起セラルル渦電流ノ相互作用ニ依リ回轉ス圓板ノ中心ヲ通シ鐵製垂直車軸アリ同車軸ハ其ノ上端ニ於テ管狀ヲ爲シ無磁金屬製獲條ニ依リ固定セル針狀鋼鐵ヲ挿入シ其ノ下端ハ椀狀ニ終リ之ト其ノ下方ニ在リテ猨條ニ依リ支持セラルル寶石軸承トノ間ニ硬鋼球ヲ挿入シ「ボール、ベアリング」ヲ形成ス回轉圓板ノ軸ニハ一小鐵片ヲ附著シ鐵心ノ右側肢腕ニ附シタル一個ノ鐵製舌片ト共ニ無負荷回轉防止裝置ヲ爲ス

三　制動磁石

本計器ノ前面上部ニ於テ前記回轉圓板ヲ挾ミ一個ノ凹形永久磁石アリ以テ圓板ノ回轉ヲ制動ス同磁石ハ二點ニ於テ支持セラル其ノ支持點ノ一ハ鐵製枠組ニ於テ固定シ他ハ之ニ附屬セル一個ノ無磁性金具及螺旋ニ依リ固定支持點ノ圍リニ回轉シ以テ同磁石ヲ適當ナル位置ニ移動スルコトヲ得尙固定セル支持點ノ周圍ニ三個ノ押螺旋ヲ附シ以テ圓板ノ上下ニ於テ適當ナル空隙ヲ得ル樣調整シ且之ヲ固定スルコトヲ得

四　負荷調整裝置

回轉圓板ヲ挾ム前記制動磁石ノ位置ヲ適當ニ選定シ以テ重負荷ニ於ケル圓板速度ヲ調整スルコトヲ得ヘシ尙輕負荷調整裝置トシテ鐵心ノ左側ニアル肢腕ノ上端ニ於テ鋼鐵製螺旋及數箇ノ無磁性座金竝一個ノ小鐵片（該鐵片ハ無磁性金具ニ依リ支持枠組ノ一部ニ取附ケタルモノモアリ）ヲ附シ該鐵片ヲ適當ニ位置ニ移動シ前記重負荷調整ニ關係ナク輕負荷ニ於ケル圓板速度ヲ調整スルコトヲ得

五　「キロワット」時數指示裝置

回轉圓板ノ回轉ハ前記車軸ノ中央部ニ取附ケタル螺絲竝齒車裝置ニ依リ逐次「サイクロメーター」型「キロワット」時數指示盤ノ數字板ニ傳ヘラル

「アルゲマイネ、エレクトリチテーツ、ゲゼルシヤフト」製

「エレクトリシチー、メーター」LJa型

遞信省告示第千五百四十七號

明治四十二年七月遞信省告示第六百二十二號外國電報ノ取扱ニ關スル制限「埃及」ノ項中左ノ通追加ス

明治四十四年十二月二十三日　遞信大臣　伯爵林董

「ラス＝エル＝ダッバア」(Ras-El-Dabbaa)、「マルサ、マトルー」(Marsa Matrouh)、「シディ、バルラニ」(Sidi Barrani)及「シワ」(Siwa)宛電報ハ普通語ヲ以テ記載シタルモノニ限リ且發信人ノ危險ニ於テノミ之ヲ受付ク

イ	外函	リ	回轉圓板
ロ	外蓋	ヌ	同圓板車軸
ハ	支持枠組	ル	寶石軸承
ニ	電壓捲線	ヲ	制動磁石
ホ	電流捲線	ワ	同磁石支持螺旋及金具
ヘ	電壓及電流捲線鐵心	カ	位相調整用短絡銅片
ト	繼鐵	ヨ	輕負荷調整用角鐵片
チ	電壓及電流端子	タ	「キロワット」時數指示裝置

特許 8554 公報

遞信省告示第千五百五十三號

明治三十三年八月遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本月二十六日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年十二月二十三日　遞信大臣　伯爵林董

「常陸國多賀郡日立村ノ項ノ次ニ

常陸國眞壁郡大村大字海老ヶ島（同松原（字五貫目木（同篠ノ内（同名倉ヲ除ク）

常陸國那珂郡額田村大字額田北郷字新道（同上ノ町（同本宿（同船渡（同森月（同畑中、大字額田南郷字中ノ町（同下ノ町（同横宿（同天神小屋

「上野國多野郡鬼石町ノ項ノ次ニ

上野國利根郡桃野村大字月夜野字月夜野

上野國利根郡古馬牧村大字政所（同眞庭（同後閑字船戸

「越前國大野郡猿野瀬村ノ項ノ次ニ

越前國今立郡洞和田村大字小坂（同片山（同別司

遞信省告示第千五百五十四號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本月二十六日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年十二月二十三日　遞信大臣　伯爵林董

名稱	位置	加入區域外通話區域	一通話ノ通常電話料
大村（郡役所）東京間	大字日ノ出	額田港間	金十五錢
大村（郡役所）栃木間	同入船	額田菅谷間	金十五錢
大村（郡役所）結城間	同仲町	額田磯濱間	金十五錢
大村（郡役所）小山間	同花暮	額田久慈濱間	金十五錢
大村（郡役所）笠間間	同海南	月夜野高崎間	金二十錢
大村（郡役所）園木間	同西野	月夜野淵川間	金十五錢
大村（郡役所）下妻間	同宮城	月夜野伊香保間	金十五錢
大村（郡役所）眞壁間	同西海	月夜野沼田間	金十五錢
額田東京間	同西濱	月夜野眞庭間	金五錢
額田水戸間	同六合	眞庭中之條間	金十五錢
額田太田（郡役所）間	字二町谷（同諏訪、同向ヶ崎（澁ヲ除ク）同東岡	眞庭高崎間	金二十錢

遞信省告示第千五百五十號

本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ電信及電話通話事務ヲ開始ス

遞信大臣　伯爵林董

名稱	位置
大村郵便局	茨城縣眞壁郡大村
額田郵便局	茨城縣那珂郡額田村
月夜野郵便局	群馬縣利根郡月夜野村

遞信省告示第千五百五十一號

本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

遞信大臣　伯爵林董

名稱	位置
名古屋郵便局	千葉縣君津郡檜葉村
荒川沖郵便局	茨城縣稻敷郡朝日村

遞信省告示第千五百五十二號

本月二十五日限リ左記電信取扱所ニ於ケル電報配達事務ヲ廢止ス

遞信大臣　伯爵林董

名稱	位置
荒川沖電信取扱所	茨城縣稻敷郡朝日村

遞信省告示第千五百五十三號

本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ電信事務ヲ開始ス

遞信大臣　伯爵林董

名稱	位置
久坂郵便局	福井縣遠敷郡知三村
坂本郵便局	福井縣遠敷郡奥名田村

遞信省告示第千五百五十四號

本月二十六日ヨリ左記電信取扱所ニ於ケル電報配達事務ヲ廢止ス

遞信大臣　伯爵林董

名稱	位置
荒川沖電信取扱所	茨城縣稻敷郡朝日村

遞信省告示第千五百五十五號

本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ電信、電話通話事務及電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

遞信大臣　伯爵林董

名稱	位置
眞庭伊香保郵便局	群馬縣利根郡古馬牧村

遞信省告示第千五百五十六號

本月二十六日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務及電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

遞信大臣　伯爵林董

名稱	位置
眞庭淵川郵便局	群馬縣利根郡古馬牧村

遞信省告示第千五百五十七號

明治三十三年八月遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通追加シ本月二十六日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年十二月二十三日　遞信大臣　伯爵林董

「備前國邑久郡鹿忍村」ノ項ノ次ニ

備前國邑久郡鹿忍村大字中疇、同菅根（同內尾字大曲

「美濃國養老郡養老村大字白石（字京ヶ脇ヲ除ク）」ノ項ノ次ニ

美濃國加茂郡下麻生町（字中麻生、同木知洞、同芝ヲ除ク）川邊町大字上川邊字御座野、同田中

遞信省告示第千五百五十八號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及通常電話料中左ノ通追加シ本月二十六日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年十二月二十三日　遞信大臣　伯爵林董

名稱	位置	加入區域外通話區域	一通話ノ通常電話料
岡山縣告示保編第三號		岡山	金十錢
森林法ニ依リ左記ノ箇所ヲ保安林ニ編入ス		興除岡山間	金十錢
明治四十四年十二月二十三日	岡山縣知事　大山綱昌	興除倉敷（中新）間	金十五錢
縣郡　村　大字　字	地番　面積　町段畝歩	興除玉島間	金十五錢
岡山　川上　中　小泉　ショロ	一、四三〇ノ内	興除早島間	金五錢
	二四七	興除妹尾間	金十五錢
	一、八〇〇	興除西大寺間	金十五錢
	佐藤　芳太郎	興除茶屋町間	金五錢
		興除天城間	金五錢
		興除井原間	金二十錢
		興除笠岡間	金二十錢
		興除味野間	金十錢
		興除撫川間	金十錢
		興除連川間	金十錢
		興除郷内間	金十錢
		興除高梁間	金二十錢
		興除總社間	金十錢
		興除八濱間	金十錢
		興除小串間	金十五錢
		興除西ノ浦間	金十錢
		興除長岡間	金十五錢
		興除山田間	金十錢
		興除三幡間	金十錢

岡山縣告示保編第三號

森林法ニ依リ左記ノ箇所ヲ保安林ニ編入ス

明治四十四年十二月二十三日

縣郡　村　大字　字　地番　面積　町段畝歩　所有者

岡山　川上　中　小泉　ショロ　二四七七　一、四三〇ノ内　一、八〇〇　佐藤　芳太郎

同　高倉　飯部、奥谷　四、四二八

同　同　同　島ノ子　四、四三四

同　同　同　陳山　四、四三五

（七）

熊本縣告示保不編第一號

森林法ニ依リ左記箇所ハ保安林ニ編入セラル

明治四十四年十二月二十三日

縣郡　村　大字　字　地番　面積　町段畝歩　熊本縣知事　川路利恭　所有者

熊本　八代　栗木　——　日當　一、九九六　三五〇〇　山本　作松　外一人

高倉村大字飯部字治村大字遠原　六、〇〇〇ノ内　一〇〇、一二五　二、九二五、六ノ内　三、一四〇　二、〇五五

正誤

本月十六日農商務省告示第五百九十號中四、三二九ノ又號ノ一八四、三二九ノ又號ノ一ノ誤　農商務書記官

一昨二十一日遞信省告示第千五百二十七號中四九一頁上段九行園本梅吉ハ園本梅吉ノ誤植

○敍任及辭令

○明治四十四年十二月二十一日

敍從五位

○明治四十四年十二月二十二日

臨時發電水力調査局技師從五位勳四等　狩野竹次郎

敍高等官二等

朝鮮總督府平安北道長官從五位勳六等　吉原　重長

敍高等官四等

大藏省臨時建築部事務官從六位勳六等　川上　常郎

大藏省臨時建築部技師正五位勳六等　奥村敬太郎

大藏省臨時建築部技師從六位　福原　俊丸

大藏省臨時建築部技師從六位　大熊　喜邦

專賣局主事正七位勳六等　田代　保

專賣局主事正七位勳六等　島田　毅一

專賣局主事正七位勳六等　須山　榮

專賣局主事正七位勳六等　植田　精作

專賣局主事正七位勳六等　岡本寶太郎

專賣局主事正七位勳六等　村岸和兵衛

專賣局主事正七位勳六等　大槻　由己

專賣局技師正七位　大石　明德

敍高等官五等

稅務監督官正七位　近藤　春臺

稅務監督官兼大藏書記官正七位　篠崎　昇誠

國債局書記官正七位勳六等　小島　原田

稅務監督官正七位勳六等　宗藏　弘造

敍高等官五等

稅務監督官正七位　松本　四郎

敍高等官六等

專賣局主事補從七位勳六等　鳩澤喜三郎

敍高等官六等

專賣局主事補從七位　安部　榮

敍正六位勳四等　狩野竹次郎

許可 8554 号 大正

稅務監督局技師從七位　本間孫太郎
專賣局主事補正八位勳六等　二宮　喜一
（專賣局主事補從七位勳六等）
專賣局技師正八位勳六等　佐藤右馬太郎
（專賣局技師從七位勳六等）
專賣局技師正八位勳六等　一戞　鍊治
（專賣局技師正八位勳六等）
稅務監督局正八位　辛島　榮治
稅務官補正八位　千葉　彌助
稅務官從七位勳七等　唐仁原　卓
稅務官從七位勳七等　吉田　耕一

（各通）

內務技師　後藤　遞平
內務技師　眞田　秀吉
內務技師　田賀奈良吉
內務技師　田中　吉二
內務技師　片山　貞松

三級俸下賜

內務技師　阪田　貞明
內務技師　金森鍬太郎
內務技師　山根　三樹
內務技師　坂本助太郎
內務技師　野村　年
內務技師　新開壽之助

（各通）

內務技師　坂本　丹治
內務技師　野田　孝一
內務技師　本間源兵衞

四級俸下賜

（各通）

內務技師　小笠原西三郎
內務技師　荒井　釣吉
內務技師　加納　盛吉
內務技師　三浦　矩明
內務技師　大津　道雄

五級俸下賜

（各通）

內務技師　有泉　榮一
內務技師　犬飼壽太郎
內務技師　竝川熊次郎

六級俸下賜

（各通）

土木局書記官　澤田竹治郎
土木局書記官　橫山　助成
內務技師　松波　秀一
內務技師　德永　保喜
內務技師　大久保清長
內務技師　中村秀太郎
內務技師　辰馬　鎌藏
內務技師　木津　正治

八級俸下賜

（各通）

內務技師　河合治八郎
內務技師　植原　勇
內務技師　福田　次吉
內務技師　金古　久次
內務技師　高坂　淺吉
內務技師　平井　新六

九級俸下賜

（各通）

專賣局事務官　池袋　壽賀
休職熊本縣師範學校教諭　河瀨半四郎
宮崎縣立高等女學校教諭　石田　雅生
島根縣濱田測候所技手陸軍步兵少尉正八位勳六等功五級
島根縣立米子中學校長兼島取縣立鳥取中學校教諭二任ス　林　重浩
從七位　原田　長松
島取縣立米子中學校教諭二任ス　高木清治郎
福島縣立工業學校教諭　山內　英尾
山形縣女子師範學校教諭二任ス　條　猪之彥
秋田縣立本莊中學校教諭二任ス　千葉　彌助
秋田縣立本莊中學校教諭二任ス　唐仁原　卓
秋田縣立本莊中學校教諭二任ス　菌田　顯善
大分縣日田郡立工業徒弟學校教諭兼大分縣日田郡立工業徒弟學校長二任ス　酒井勇三郎
大分縣日田郡立工業徒弟學校教諭　吉田　耕一
靜岡縣沼津町立沼津商業學校教諭二任ス　高木清治郎
靜岡縣沼津町立沼津商業學校教諭　山內　英尾
專賣局技師正八位勳六等　一戞　鍊治
專賣局技師正八位　辛島　榮治
稅務監督官補正八位　千葉　彌助
稅務官從七位勳七等　唐仁原　卓
稅務官從七位勳七等　吉田　耕一

（各通）

內務技師　後藤　遞平
內務技師　眞田　秀吉
內務技師　田賀奈良吉
內務技師　田中　吉二
內務技師　片山　貞松

三級俸下賜

內務技師　阪田　貞明
內務技師　金森鍬太郎
內務技師　山根　三樹
內務技師　坂本助太郎
內務技師　野村　年
內務技師　新開壽之助

（各通）

內務技師　坂本　丹治
內務技師　野田　孝一
內務技師　本間源兵衞

四級俸下賜

（各通）

內務技師　小笠原西三郎
內務技師　荒井　釣吉
內務技師　加納　盛吉
內務技師　三浦　矩明
內務技師　大津　道雄

五級俸下賜

（各通）

內務技師　有泉　榮一
內務技師　犬飼壽太郎
內務技師　竝川熊次郎

六級俸下賜

（各通）

土木局書記官　澤田竹治郎
土木局書記官　橫山　助成
內務技師　松波　秀一
內務技師　德永　保喜
內務技師　大久保清長
內務技師　中村秀太郎
內務技師　辰馬　鎌藏
內務技師　木津　正治

八級俸下賜

內務技師　河合治八郎
內務技師　植原　勇
內務技師　福田　次吉
內務技師　金古　久次
內務技師　高坂　淺吉
內務技師　平井　新六

九級俸下賜

（各通）

專賣局事務官　池袋　壽賀
休職熊本縣師範學校教諭　河瀨半四郎
宮崎縣立高等女學校教諭　石田　雅生
島根縣濱田測候所技手陸軍步兵少尉正八位勳六等功五級
島根縣立米子中學校長兼島取縣立鳥取中學校教諭二任ス　林　重浩
從七位　原田　長松
島取縣立米子中學校教諭二任ス　高木清治郎
福島縣立工業學校教諭　山內　英尾
山形縣女子師範學校教諭二任ス　條　猪之彥
秋田縣立本莊中學校教諭二任ス　千葉　彌助
秋田縣立本莊中學校教諭二任ス　唐仁原　卓
秋田縣立本莊中學校教諭二任ス　菌田　顯善
大分縣日田郡立工業徒弟學校教諭兼大分縣日田郡立工業徒弟學校長二任ス　酒井勇三郎
大分縣日田郡立工業徒弟學校教諭　吉田　耕一
靜岡縣沼津町立沼津商業學校教諭二任ス　高木清治郎
靜岡縣沼津町立沼津商業學校教諭　山內　英尾
專賣局技師正八位勳六等　一戞　鍊治
專賣局技師正八位　辛島　榮治
稅務監督官補正八位　千葉　彌助
稅務官從七位勳七等　唐仁原　卓
稅務官從七位勳七等　吉田　耕一

（各通）

內務技師　後藤　遞平
內務技師　眞田　秀吉
內務技師　田賀奈良吉
內務技師　田中　吉二
內務技師　片山　貞松

三級俸下賜

內務技師　阪田　貞明
內務技師　金森鍬太郎
內務技師　山根　三樹
內務技師　坂本助太郎
內務技師　野村　年
內務技師　新開壽之助

（各通）

內務技師　坂本　丹治
內務技師　野田　孝一
內務技師　本間源兵衞

四級俸下賜

（各通）

內務技師　小笠原西三郎
內務技師　荒井　釣吉
內務技師　加納　盛吉
內務技師　三浦　矩明
內務技師　大津　道雄

五級俸下賜

（各通）

內務技師　有泉　榮一
內務技師　犬飼壽太郎
內務技師　竝川熊次郎

六級俸下賜

（各通）

土木局書記官　澤田竹治郎
土木局書記官　橫山　助成
內務技師　松波　秀一
內務技師　德永　保喜
內務技師　大久保清長
內務技師　中村秀太郎
內務技師　辰馬　鎌藏
內務技師　木津　正治

八級俸下賜

內務技師　河合治八郎
內務技師　植原　勇
內務技師　福田　次吉
內務技師　金古　久次
內務技師　高坂　淺吉
內務技師　平井　新六

十一級俸下賜

五級俸下賜　兵庫縣印南郡長　堀江虎五郎
三級俸下賜　兵庫縣宍粟郡長　那波　德治

（各通）

兵庫縣事務官補　森野　左近
德島縣知事　渡邊勝三郎
茨城縣知事　坂　仲輔

二級俸下賜

奈良縣事務官　川越　壯介
巖手縣事務官　永田秀次郎
兵庫縣事務官　赤池　濃
茨城縣事務官　眞中　直道

（各通）

東京府事務官　濱野　虎吉
京都府事務官　高崎　行一
神奈川縣事務官　白坂　榮彥

一級俸下賜

岡山縣事務官　飯田　盛敏
大分縣事務官　黑崎　眞也
滋賀縣事務官　稻葉健之助

三級俸下賜

千葉縣事務官　春藤　嘉平
山形縣事務官　岸本　正雄
島根縣事務官　宮崎通之助
長野縣事務官　田中　千里
廣島縣事務官　片岡　文理
奈良縣事務官　日比　重雅

（各通）

千葉縣事務官　元田　敏夫
滋賀縣事務官　紀伊　寬平
宮崎縣事務官　市川　覃

五級俸下賜

（各通）

青森縣事務官　大賀雄次郎
福岡縣事務官　大島　直道
富山縣事務官　本間　利雄
靜岡縣事務官　舟橋　雅一
秋田縣事務官　岩元　禧
熊本縣事務官　大海原重義
德島縣事務官　堀口　滿貞

（各通）

神奈川縣技師　山口　信夫
內務技師　後藤　運平
國債局書記官　小島　誠
造幣局技師　川浪虎太郎

二級俸下賜

專賣局主事　岡村　玉造
專賣局主事　田代　保
專賣局主事　島田　毅一
專賣局主事　須山　榮
專賣局主事　植田　精作
專賣局主事　岡木貫太郎
專賣局主事　村岸和兵衞

（各通）

專賣局技師　北浦　重之
專賣局主事　松本　弘造
專賣局主事　宇賀　四郎
專賣局技師　大槻　由己
專賣局技師　大石　明德

三級俸下賜

四級俸下賜

專賣局主事　末次　攻一
專賣局主事　吉永　常吉
專賣局主事　金光　秀文

（各通）

專賣局主事補　乃村禧三郎
專賣局主事補　鶴崎　重久
專賣局主事補　森田外與吉

一級俸下賜

二級俸下賜

專賣局主事補　鳩澤喜三郎
專賣局主事補　安部　榮

（各通）

專賣局主事補　平井茂次郎
專賣局主事補　池川榮太郎
專賣局主事補　松平　仲
專賣局主事補　山田彌太郎
專賣局主事補　岡地釵三郎
專賣局主事補　藤井　正眞

三級俸下賜

四級俸下賜

專賣局主事補　二宮　喜一
專賣局主事補　佐藤右馬太郎

（各通）

專賣局技師　澁谷　正眞
專賣局技師　一戞　鍊治
專賣局技師　辛島　榮治

九級俸下賜

十級俸下賜

十一級俸下賜

二級俸下賜

專賣局技師　山下　卓馬
專賣局技師　甘山　眞三
門司稅關長　笠原寬太郎
稅關鑑定官　檜林　英寶

京都府大阪府愛知縣及廣島縣へ出張ヲ命ス（十二月二日）（內務省）

（各通）

五級俸下賜

七級俸下賜

八級俸下賜（以上十二月二日　內務省）

許可 8554 号 大正

二級俸下賜　醸造試驗所事務官　佐藤　悟郎
税務監督官　近藤　春臺
税務監督官　箕輪　昇
税務監督官　原田　宗藏
税務官　吉田佐太郎
（各通）
三級俸下賜
税務官　高木彦太郎
税務監督官　伏見東二郎
税務官　山口　愛治
（各通）
一級俸下賜
二級俸下賜
税務監督官補　原　金吾
税務監督官補　今田　件吉
税務監督官補　伊岐浩一郎
税務監督官補　水澤謙三郎
税務監督官補　福本　鶴松
税務官　勝浦守次郎
税務官　小尾　惠作
税務官　中畑　岩市
税務官　櫻井　松夫
税務官　田中　寬治
税務官　町田　磐
税務官　安井　政道
（各通）
三級俸下賜
税務監督官補　佐々木貢吉
税務監督官補　納富安太郎
税務官　菊池　元
税務官　薄口　顯三
税務官　井上理三郎
税務官　長澤　秀
税務官　牧野三津太郎
税務官　廣西　復三
（各通）
五級俸下賜
九級俸下賜
十級俸下賜
一級俸下賜
（各通）
三級俸下賜
四級俸下賜
五級俸下賜（以上十二月二大藏省）
兒木職補歩兵第三十四聯隊大隊長
税務監督局技師　木下　研三
税務監督局技師　川上　董次
税務監督局技師　森垣龜一郎
大藏省臨時建築部事務官　奥村敬太郎
大藏省臨時建築部技師　鎗田　作造
大藏省臨時建築部技師　秩父　忠鉉
大藏省臨時建築部技師　井上　範
歩兵第六十聯隊大隊長兼歩兵少佐　山本　宜一
歩兵第三十四聯隊大隊長陸軍歩兵少佐　梶原　景敏
兒木職補歩兵第六十聯隊長（以上十二月二陸軍省）
兒木職補海軍省出仕　春日艦長海軍大佐　眞田　鶴松
兒木職補千代田艦長　大淺要港部參謀長海軍大佐　永田泰次郎
兒木職補春日艦長　千代田艦長海軍大佐　町田駒次郎
兼補第十四驅逐隊司令　第十三驅逐隊司令海軍大佐　水町　元
兒木職補大淺要港部參謀長　第十四驅逐隊司令海軍中佐　鍵和田專太郎
（各通）
山風乘組兼佐世保海軍工廠艤裝員海軍大尉　渡邊仁太郎
山風驅逐艦長兼佐世保海軍工廠艤裝員海軍中佐　高柳　稻雄
海軍大尉　市來　哲藏
海軍大尉　初田甚三郎
筑波分隊長海軍大尉　林　季樹
山風乘組兼佐世保海軍工廠艤裝員海軍大尉　高橋　清江
山風乘組兼佐世保海軍工廠艤裝員海軍機關大尉　河邊　恒次
兒兼職（以上十二月二海軍省）
補鳥取地方裁判所長　長崎控訴院部長判事　村上　泰智
二級俸下賜　鳥取地方裁判所長判事　千葉　直枝
退職ヲ命ス　鳥取地方裁判所長判事　村上　泰智
解兼職　松山地方裁判所長判事　高橋　克親
水戸地方裁判所判事兼水戸區裁判所判事　古谷新太郎
補水戸地方裁判所判事兼水戸區裁判所判事　石塚與八郎
甲府區裁判所檢事局詰ヲ命ス　豫備檢事（甲府地方所判事兼判事）　合志　淵藏
長野地方裁判所詰ヲ命ス　豫備判事（大阪地方）　大里與謝郎
十級俸下賜　水戸地方裁判所判事　石塚與八郎
岐阜區裁判所檢事代理ヲ解ク　水戸地方裁判所判事　寺田　道夫
岐阜區裁判所檢事代理ヲ命ス（以上十二月二司法省）　司法官試補　田中　草也
東京高等師範學校教授　野田　貞
學術實地指導ノ爲千葉縣下ヘ出張ヲ命ス　東京高等師範學校教授　佐々木祐太郎
學術實地指導ノ爲神奈川靜岡ノ二縣下ヘ出張ヲ命ス　東京高等師範學校）
浦賀ヘ出張ヲ命ス（二十二月遞信省）　遞信技師　山本　幸男
左ノ遞信管理局區内ヘ出張ヲ命ス　郵便貯金局長　下村　宏
名古屋　大阪　神戸　廣島　熊本
一級俸下賜　遞信書記官　森　義一
三級俸下賜　遞信書記官　米田奈良吉
六級俸下賜　遞信書記官　喜多　孝治

一級俸下賜　臨時發電水力調查局技師　安藤光太郎
五級俸下賜　臨時發電水力調查局技師　濱田　東稻
臨時發電水力調查局技師　田中　吉啟
十級俸下賜　郵便貯金局書記官　中村厚次郎
四級俸下賜　郵便貯金局事務官　長　尙遠
三級俸下賜　郵便貯金局事務官補　小川　勝彌
二級俸下賜　遞信管理局事務官　藪內敬之助
（各通）　遞信管理局長　瀧原久四郎
三級俸下賜　遞信管理局書記官　畠山　敏行
六級俸下賜　遞信管理局事務官　小田部胤康
（各通）　遞信管理局事務官　五島　駿吉
四級俸下賜　遞信管理局事務官　土屋　共治
（各通）　遞信管理局事務官　中林　賢吾
遞信管理局事務官　片倉　明
遞信管理局事務官　平塚米次郎
五級俸下賜　通信事務官　樋野　得三
一級俸下賜　通信事務官　柳谷　酉三
四級俸下賜　通信事務官　古賀　傳吉
五級俸下賜　通信事務官補　勝造　內藤
（各通）　通信事務官補　岡本　安太
一級俸下賜　遞信事務官補　林　榮作
二級俸下賜　航路標識管理所技師　石川　源二
九級俸下賜　高等海員審判所理事官　市村　富久
（各通）　地方海員審判所審判官　日高林三郎
四級俸下賜　地方海員審判所審判官　國行　敬道
六級俸下賜　地方海員審判所審判官　竹下　爲志
五級俸下賜　地方海員審判所理事官　服部　寬司
一級俸下賜　地方海員審判所理事官　山內幸吉郎
（各通）　地方海員審判所理事官　宮崎　清則
四級俸下賜　商船學校教授　小見　忠雄
五級俸下賜　商船學校教授　佐々木盛吉
六級俸下賜　商船學校教授　野本　正一
七級俸下賜　商船學校教諭兼教諭　玉井　五岳
（各通）　商船學校教諭　大西三次郎
三級俸下賜　遞信技師　川住銑四郎
一級俸下賜　遞信技師　川口市太郎
遞信技師　浦田周次郎
遞信技師　石川留三郎
遞信技師　成松德一郎
遞信技師　竹內濟二郎
遞信技師　森山　守吉
遞信技師　村尾　榮
遞信技師　垒先友太郎
遞信技師　和田　信夫
遞信技師　小野　房若
遞信技師　西脇　吉久
遞信技師　蜷川　澄德
遞信技師　神谷　貞廣
遞信技師　高野　四郎
遞信技師　城　與三郎
遞信技師　越智　誠二
遞信技師　永松　文一
遞信技師　德永　格
遞信技師　腹卷　五郎
遞信管理局技師　大畑源一郎
遞信管理局技師　木間　輝藏
（各通）
二級俸下賜
三級俸下賜
（各通）
四級俸下賜
五級俸下賜
（各通）
六級俸下賜
九級俸下賜
（各通）
二級俸下賜
（各通）
三級俸下賜
四級俸下賜
五級俸下賜
六級俸下賜
七級俸下賜
八級俸下賜
（各通）
九級俸下賜
（各通）
八級俸下賜（以上十二月二同）
六級俸下賜　島根縣立杵築中學校長　加藤常七郎
七級俸下賜　島根縣立商業學校長　堀口米太郎
九級俸下賜　島根縣立松江高等女學校長　吉岡勘之助
十一級俸下賜　島根縣立松江高等女學校教諭　上田伸之助
年俸八百圓下賜　島根縣立農事試驗場技師　草場　榮喜
年俸貳百圓下賜（以上十二月十八日島根縣）　島根縣林業技師　三谷平之助
十一級俸下賜（十二月十四日佐賀縣）　佐賀縣師範學校教諭　橫尾　繁六

○宮廷錄事

○皇族御發著　朝融王、邦久王兩殿下ハ昨二十二日御出發京都（御旅行相成リ

官報 8554 大正

第8554号 本文

○彙報

○官廳事項

○官吏發著 曩ニ村上地方ヘ出張ノ河内歩兵第十五旅團長ハ本月十七日歸著セリ

曩ニ上京ノ馬場廣島控訴院長ハ本月二十日出發歸任セリ

學術實地指導ノタメ山梨、神奈川二縣下ヘ出張ヲ命セラレタル横山東京帝國大學理科大學教授ハ一昨二十一日出發●山川九州帝國大學總長ハ昨二十二日上京セリ

岡島取縣知事ハ本月二十日上京セリ

○官吏卒去及死去 鐵道院參事正五位勳四等内海安太郎ハ本月十八日卒去シ室蘭區裁判所檢事正七位鮫島和政ハ同十二日死去セリ

警察

○清國在留禁止 在清國芝罘帝國領事館事務代理ハ左記ノ者ニ對シ明治二十九年法律第八十號清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法第一條ニ依リ各々頭書ノ期間清國在留禁止ノ命令ヲ發セリ

去月三十日ヨリ向フ三箇年 當時清國山東省芝罘廣東街、廣島縣廣島市小町一番地平民戸主無職 河本 鑒 明治八年十月二日生

同上 當時清國山東省芝罘瀛州大街、京都府京都市廣小路通寺町東入中御靈町十一番戸平民戸主市之助弟 堤 幸之助 明治十八年五月一日生

○出火 本月十八日午前十時五十五分福井縣南條郡武生町字吾妻ヨリ出火住屋二戸全燒燒死者一午後零時四十分鎭火原因過失ナリ

○陸海軍

○蹄鐵術卒業 騎兵第四聯隊ニ於テ本月十八日左記ノ者ニ各々蹄鐵術卒業證書ヲ付與セリ（陸軍省）

和歌山縣平民	陸軍工兵一等卒	吉野 梅次郎
和歌山縣平民	陸軍歩兵一等卒	阪井 安吉
大阪府平民	陸軍歩兵二等卒	徳野 重治郎
和歌山縣平民	陸軍歩兵一等卒	貴志 政次郎
大阪府平民	陸軍歩兵二等卒	吉原 虎之助
兵庫縣平民	陸軍歩兵二等卒	中村 作兵衛
和歌山縣平民	陸軍歩兵二等卒	湯本 茂三郎
大阪府平民	陸軍工兵二等卒	辻井 明

○不要徵兵終決處分者 新潟縣ニ於ケル所在不明ノ徵兵終決處分未濟者中所在發見、轉籍、死亡等ノタメ爾後調查ヲ要セサル者左ノ如シ（新潟縣）

本籍地	氏名	生年月日
北蒲原郡松塚村藤塚濱一八七	松田 濟太	明治一八、三、三
中頸城郡大瀁村市村二五四	村田 文作	七、一、六
同郡平丸村平丸四九	石田 森三郎	三、八、三〇
岩船郡女川村高田二三	須貝 末喜	二、七、九
佐渡郡二見村高瀬一二九五	宇田 國藏	三、一、一九
同郡雨津町湊一五	伊藤 德藏	八、一、五
長岡市船江町一一	佐藤 富藏	六、七、二〇
同市中千手町二六五	五十嵐久米八	一七、一、二五
高田市西二ノ辻四二	本城 定治	三、一、二

○軍艦發著 各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ（海軍省）

艦名	月日	著	發	行先
常磐	一二、二〇	旅順		
香取	同	横須賀		
三笠	同	鎭海		
伊吹	一二、二一		香港	横須賀
若宮丸	一二、二二	呉		

○學事

○東京高等師範學校開催地理、歷史講習會要領 明治四十五年一月二十九日ヨリ二月十七日ニ至ル三週間東京高等師範學校ノ開催ニ係ル地理、歷史講習會會場、開會期間、講師、講習要目及講習員資格等ニ關シ同校長ヨリ申出ノ要領左ノ如シ（文部省）

東京高等師範學校卒業生講習要項

一 講習學科目 地理、歷史

二 講習會場 東京高等師範學校

三 講習期間 自明治四十五年一月二十九日至明治四十五年二月十七日 三週間

四 講師及講習要目

歷史教授上ノ注意	教授文學博士 三宅 米吉
西洋歷史中注意スヘキ二三ノ事項	教授 磯田 良
人文地理	教授 山崎 直方
清朝史	教授 中村 久四郎
法制經濟ノ教授ニ就キテ	教授 中島 信虎
西洋歷史直觀解說及教授法	教授 齋藤 斐章
地理實地授業研究指導	教授 大關 久五郎

五 講習員資格 高等師範學校文學科、文科又ハ東京高等師範學校本科第二學部、地理歷史部、地理歷史專修科卒業生ニシテ師範學校中學校高等女學校等ニ在職中ノ者

六 講習員定員 道廳府縣各々一人

七 講習員申込及出校 講習員ハ地方長官ニ於テ選定ノ上一月二十日マテニ其氏名ヲ直接東京高等師範學校長ニ通告ノコト、本人ハ同二十九日午前八時出校アルヘキコト

○卒業證書授與 東京高等商業學校ニ於テ曩ニ試驗ヲ延期セシ專攻部（交通科）東京府士族大石治良ニ本月十日、同部（保險科）大阪府平民山口幸之助ニ同二十日孰モ卒業證書ヲ授與セリ（文部省）

○內地人諸學校教員及生徒月末調 本年四月及九月末內地人諸學校教員及生徒調左ノ如シ（朝鮮總督府）

小學校教員及兒童月末調

道名	月別	學校數	男女別	尋常科 第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年	補習科	計	高等科 第一學年	第二學年	補習科	計	合計	學級數	教員數 男女	教員數 計
京畿道	四月末	一五	男	五五一	五六一	五〇四	四七八	四五三	三四一	一	二、八八九	二〇八	一一一	—	三一九	三、二〇八	一一七	一一〇	一五九
			女	五五三	五二二	四九六	四八八	三九〇	三〇七	二	二、七五八	一一五	五〇	—	一六五	二、九二三		二九	
	九月末	一五	男	五七二	五五九	五一八	四九一	四六五	三四五	一	二、九五一	二二八	一二四	—	三五二	三、三〇三	一二四	一〇五	一三二 ×六
			女	五六一	五二二	五〇二	四九五	三八九	三〇八	四	二、七八一	一二七	四八	—	一七五	二、九五六		三一 ×一	
忠清北道	四月末	四	男	二二	一三	一七	一七	一九	一六	六	一一〇	四	—	—	四	一一四	七	五	八
			女	一六	二〇	二三	一四	八	一〇	三	九四	—	—	—	—	九四		三	
	九月末	七	男	二六	一六	一八	一九	一五	一三	—	一〇七	五	五	—	一〇	一一七	一〇	八	一二
			女	二一	二一	二六	一三	一二	一一	—	一〇四	二	一	—	三	一〇七		四	
忠清南道	四月末	一四	男	六三	六六	六五	五五	五一	四三	—	三四三	二七	一四	—	四一	三八四	二一	一七	二三
			女	六二	七四	五八	四七	五〇	三四	—	三二五	一九	八	—	二七	三五二		六	
	九月末	一八	男	六七	七九	六八	六五	五五	四五	—	三七九	二八	一二	—	四〇	四一九	二六	二二	二八
			女	七八	九二	六八	四七	五五	三四	—	三七四	二〇	五	—	二五	三九九		六	
全羅北道	四月末	七	男	六八	七七	七九	五六	五七	三五	四	三七六	三二	二〇	—	五二	四二八	二〇	一七	二一
			女	七一	七二	五七	六五	三五	三五	一	三三六	二七	一三	—	四〇	三七六		四	
	九月末	一〇	男	八二	八三	九三	六五	六三	三五	三	四二四	二九	一九	—	四八	四七二	二四	二一	二四
			女	八一	七九	六二	七六	四二	三六	一	三七七	二八	一四	—	四二	四一九		三	
全羅南道	四月末	九	男	九六	六〇	六八	六〇	五三	二九	三	三六九	三一	一五	—	四六	四一五	一九	一七	二二
			女	八三	六七	五七	七一	四〇	三三	五	三五六	二六	一五	—	四一	三九七		五	
	九月末	一三	男	一一一	八一	八二	六八	五九	三八	三	四四二	二八	一八	—	四六	四八八	二九	二一	三一
			女	一〇〇	七〇	七四	七六	四九	三九	七	四一五	二八	一三	—	四一	四五六		一〇	
慶尚北道	四月末	一二	男	一一一	八九	一〇九	七九	七八	五〇	一	五一七	三三	二三	—	五六	五七三	二八	二三	三〇
			女	七九	九二	一〇八	七九	四九	三九	—	四四六	三五	一七	—	五二	四九八		七	
	九月末	一六	男	一一四	九七	一二一	九四	八一	五七	一	五六五	二九	二一	—	五〇	六一五	三三	二八	四〇
			女	九二	一〇六	一〇七	八七	四八	五〇	—	四九〇	三六	一七	—	五三	五四三		一二	
慶尚南道	四月末	三七	男	四七〇	四三一	四〇二	三七九	三四一	二八〇	一四	二、三一七	二〇四	一〇九	—	三一三	二、六三〇	一一三	一〇一	一三〇
			女	四〇九	四〇五	三九〇	三六四	二八三	一九五	九	二、〇五五	七六	三一	一三	一二〇	二、一七五		二九	
	九月末	三七	男	五〇五	四四二	四〇九	三九五	三四六	二八九	一一	二、三九七	二一一	一〇六	—	三一七	二、七一四	一一四	一〇二	一三三
			女	四一七	四〇五	三九七	三七〇	二八六	二〇四	八	二、〇八七	七五	三三	一三	一二一	二、二〇八		三一	
黄海道	四月末	七	男	二七	三五	三〇	三一	一七	二〇	三	一六三	七	二	—	九	一七二	一一	九	一四
			女	四〇	一九	三一	三四	二〇	二〇	四	一六八	九	二	—	一一	一七九		五	
	九月末	八	男	三六	三六	三〇	三四	一八	二二	二	一七八	一〇	一	—	一一	一八九	一三	一〇	一五
			女	四三	二三	三八	四一	一八	二二	三	一八八	八	一	—	九	一九七		五	
江原道	四月末	三	男	七	一〇	三	—	五	三	—	二八	—	—	—	—	二八	三	三	四
			女	三	九	七	二	一	六	—	二八	—	—	—	—	二八		一	
	九月末	六	男	一五	一五	四	七	九	四	—	五四	—	—	—	—	五四	六	六	八
			女	一〇	七	六	六	二	一〇	—	四一	—	—	—	—	四一		二	
平安南道	四月末	五	男	一〇二	一〇三	一〇五	九〇	九二	六二	一	五五五	五五	二七	一九	一〇一	六五六	二九	二五	三二
			女	一〇八	九七	九九	九一	六八	五一	二	五一六	四〇	二〇	六	六六	五八二		七	
	九月末	五	男	一一三	一一〇	一一一	九八	九四	六五	—	五九一	五九	二七	一八	一〇四	六九五	二九	二五	三四
			女	一一四	一〇一	一〇〇	一〇〇	六七	五七	二	五四一	三九	一九	八	六六	六〇七		九	
平安北道	四月末	一〇	男	三六	四二	三〇	三六	二八	三一	五	二〇八	一四	六	—	二〇	二二八	八	一三	一八
			女	三七	四一	三二	三三	一六	二五	二	一八六	七	四	—	一一	一九七		五	
	九月末	一一	男	三二	四七	三七	三七	二九	三四	五	二二一	一三	五	—	一八	二三九	一〇	一六	二一
			女	三五	三九	二九	三四	一九	二二	三	一八一	七	四	—	一一	一九二		五	
咸鏡南道	四月末	六	男	六三	七五	七三	五一	五八	四一	—	三六一	三三	一八	—	五一	四一二	二一	一三	一四
			女	六八	五六	六二	四七	五七	四二	—	三三二	三七	二五	—	六二	三九四		一	
	九月末	六	男	六六	七五	七六	五〇	五四	四〇	—	三六一	三二	一八	—	五〇	四一一	二一	二三	二七
			女	七三	五三	六七	五五	五八	四三	—	三四九	三六	二六	—	六二	四一一		四	
咸鏡北道	四月末	五	男	四一	三二	四七	三〇	三六	二一	一	二〇八	二三	一〇	—	三三	二四一	一四	一〇	一五
			女	四六	四〇	二一	三〇	二九	二一	—	一八七	九	四	—	一三	二〇〇		五	
	九月末	五	男	四九	三七	四七	三四	三九	二六	—	二三二	二二	八	—	三〇	二六二	一四	九	一五
			女	五三	四五	二六	三四	三二	二二	—	二一二	一〇	三	—	一三	二二五		六	
總計	四月末	一三四	男	一、六五七	一、五九四	一、五三二	一、三六二	一、二八八	九七二	三九	八、四四四	六七一	三五五	一九	一、〇四五	九、四八九	四二一	三六三	四七〇
			女	一、五七五	一、五一四	一、四四一	一、三六五	一、〇四六	八一八	二八	七、七八七	四〇〇	一八九	一九	六〇八	八、三九五		一〇七	
	九月末	一五七	男	一、七八八	一、六七七	一、六一四	一、四五七	一、三二七	一、〇一三	二六	八、九〇二	六九四	三六四	一八	一、〇七六	九、九七八	四六三	三九二 ×五	五二〇 ×六
			女	一、六七八	一、五六三	一、五〇二	一、四三四	一、〇七七	八五八	二八	八、一四〇	四一六	一八四	二一	六二一	八、七六一		一二八 ×一	

（備考）×印ハ兼任者ナリ本表學校數ハ既開校ノモノヽミニシテ設立認可ヲ得タルモ未タ開校ノ運ニ至ラサルモノハ算入セス

中等學校敎員及生徒月末調

學校名	月別	生徒數						學級數	敎員數		
		第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	計		內地人	朝鮮人	計
朝鮮總督府中學校	四月末	一五〇	一〇〇	六三	三七	—	三五〇	八	一六（英人）	—	一六
	九月末	一四七	九四	六三	三九	—	三四三	八	二二	一	二三
附設臨時小學校敎員養成所	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	〃	二九	—	—	—	—	二九	一	—	—	—
計	〃	一五〇	一〇〇	六三	三七	—	三五〇	八	一六（英人）	—	一六
	〃	一七六	九四	六三	三九	—	三七二	九	二二	一	二三
仁川商業學校	〃	六七	六三	—	—	—	一三〇	四	八	一	九
	〃	六八	六一	—	—	—	一二九	四	七	一	八
仁川商業學校專科	〃	二	七	—	—	—	九	二	—	—	—
	〃	一〇	六	—	—	—	一六	二	—	—	—
釜山商業學校	〃	一〇七	四七	二八	—	—	一八二	四	一〇	一	一一
	〃	一〇六	四五	二七	—	—	一七八	四	一二	一	一三
計	〃	一七六	一一七	二八	—	—	三二一	一〇	一八	二	二〇
	〃	一八四	一一二	二七	—	—	三二三	一〇	一九	二	二一
京城高等女學校	〃	一二五	八九	七二	四五	—	三三一	九	一七	—	一七
	〃	一三一	九一	七二	四六	補習科一五	三五五	一〇	一七	—	一七
釜山高等女學校	〃	四七	五一	四五	三三	—	一七六	五	一四	—	一四
	〃	五四	五一	四五	三二	—	一八二	五	一四	—	一四
釜山高等女學校技藝科	〃	二三	三一	—	—	—	五四	二	—	—	—
	〃	二〇	二八	—	—	—	四八	二	—	—	—
仁川實科高等女學校	〃	一五	二七	一八	四	—	六四	四	一〇	—	一〇
	〃	一六	二八	一四	三	—	六一	四	九	—	九
計	〃	二一〇	一九八	一三五	八二	—	六二五	二〇	四一	—	四一
	〃	二二一	一九八	一三一	八一	補習科一五	六四六	二一	四〇	—	四〇

各種學校敎員及生徒月末調

學校名	月別	生徒數						學級數	敎員數		
		第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	計		內地人	朝鮮人	計
東洋協會專門學校京城分校	四月末	四二	—	—	—	—	四二	一	一四	一	一五
	九月末	四三	—	—	—	—	四三	一	一六	一	一七
東洋協會專門學校京城分校朝鮮語講習會	〃	二三	—	—	—	—	二三	二	—	二	二
	〃	一一	—	—	—	—	一一	二	—	二	二
善隣商業學校專修科	〃	八五	五八	二八	—	—	一七一	三	六	一	七
	〃	七七	四七	二五	—	—	一四九	三	六	一	七
私立京城女子技藝學校	〃	三二	二八	七	—	—	六七	六	七	—	七
	〃	四一	二七	四	—	—	七二	六	七	—	七
元山商業補習學校	〃	二一	—	—	—	—	二一	四	三	一	四
	〃	二七	—	—	—	—	二七	三	七	一	八
京城夜學校	〃	五一	—	—	—	—	五一	四	四	—	四
	〃	八一	—	—	—	—	八一	四	四	—	四
計	〃	二五四	八六	三五	—	—	三七五	一九	三四	五	三九
	〃	二八〇	七四	二九	—	—	三八三	一八	四〇	五	四五

幼稚園幼兒及保姆月末調

名稱	月別	幼兒數			組數	保姆及助手數		
		男	女	計		內地人	朝鮮人	計
京城庚子記念幼稚園	九月末	六一	六四	一二五	三	四	—	四
仁川記念幼稚園	同	四一	四九	九〇	二	二	—	二
私立京城幼稚園	同	一五	一七	三二	一	一	—	一
私立釜山幼稚園	同	五四	七〇	一二四	三	四	—	四
群山尋常高等小學校附屬群山幼稚園	同	一一	七	一八	二	二	—	二
大邱幼稚園	同	二一	二〇	四一	二	二	—	二
鎭南浦幼稚園	同	二四	二八	五二	一	二	—	二
私立元山幼稚園	同	四六	六〇	一〇六	二	四	—	四
計	同	二七三	三一五	五八八	一六	二一	—	二一

〇留學生歸朝　文部省外國留學生井上通夫ハ本月九日歸朝セリ（文部省）

〇財政

〇會計檢査成績書會議　會計檢査院ハ明治四十二年度會計檢査成績書會議ヲ昨二十二日開始セリ（會計檢査院）

〇宅地地價修正成績　明治四十三年法律第三號宅地地價修正法ニ依リ修正シタル宅地ノ坪數、地價、地租等左ノ如シ△印ハ減（大藏省）

區分		筆數（筆）	坪數（坪）	賃貸價格（圓）	修正地價（圓）	元地價（圓）	修正地租（圓）	元地租（圓）	比較增減租（圓）
市部	元市街宅地	五八〇、三六六	六〇、八三一、二八六	三二、八八三、八八二	二八二、二〇四、六二一	三二、九五三、三一五	七、〇五五、一一五	六、五六四、三六八	四九〇、七四六
	元郡村宅地	二六、四七二	二、九七五、四七五	三〇三、〇二六	二、二〇八、五六七	四七一、七九四	五五、二一四	三七、三九一	一七、八二三
	計	六〇六、八三八	六三、八〇六、七六一	三三、一八六、九〇九	二八四、四一三、一八八	三三、四二五、一〇九	七、一一〇、三二九	六、六〇一、七五九	五〇八、五六九
郡部	元市街宅地	二三九、九八二	一九、四一〇、六六四	三、六〇五、二五二	三三、四五六、二八五	五、三四四、一二八	八三六、四〇七	一、〇六八、一二九	△二三一、七二二
	元郡村宅地	八、五六六、九四七	一、〇六五、三三七、六九二	三四、九九一、〇八二	三二三、九〇二、二七〇	一〇五、八三一、二三三	八、〇九七、五五六	八、四五五、六五六	△三五八、〇九九
	計	八、八〇六、九二九	一、〇八四、七四八、三五六	三八、五九六、三三五	三五七、三五八、五五六	一一一、一七五、三六一	八、九三三、九六三	九、五二三、七八五	△五八九、八二一
合計	元市街宅地	八二〇、三四八	八〇、二四一、九五一	三六、四八九、一三五	三一五、六六〇、九〇七	三八、二九七、四四四	七、八九一、五二二	七、六三二、四九八	二五九、〇二四
	元郡村宅地	八、五九三、四一九	一、〇六八、三一三、一六七	三五、二九四、一〇九	三二六、一一〇、八三七	一〇六、三〇三、〇二六	八、一五二、七七〇	八、四九三、〇四七	△三四〇、二七六
	計	九、四一三、七六七	一、一四八、五五五、一一八	七一、七八三、二四五	六四一、七七一、七四五	一四四、六〇〇、四七〇	一六、〇四四、二九三	一六、一二五、五四五	△八一、二五二

（備考）坪位未滿及圓位未滿ノ端數切捨ニ依リ合計ニ符合セス

〇產業

〇林野講習會　農商務省主催第一回林野講習會經過ノ大要左ノ如シ（農商務省）

開催地及參加府縣

開催月日	開催地	會場	參加府縣
自七月十二日至同二十三日	金澤市	縣會議事堂	石川、福井、新潟、富山
自同二十五日至八月五日	京都市	京都市立第一商業學校	京都、大阪、奈良、和歌山、滋賀、岐阜、愛知、三重、靜岡、鳥取
自同七日至同十八日	甲府市	公會堂機山館	山梨、東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬、長野
自同十五日至同二十六日	廣島市	縣立商業學校	廣島、山口、島根、岡山、兵庫、德島、香川、愛媛、高知
自九月二日至同十三日	熊本市	武德殿	熊本、長崎、佐賀、福岡、大分、宮崎、鹿兒島、沖繩
自同十八日至同二十九日	盛岡市	同	岩手、青森、秋田、山形、宮城、福島

講師及擔任科目

一　森林法制大意
　農商務省山林局地方課長農商務書記官　渡部忠壽
　農商務省山林局林務課長山林局書記官　八木武三郎
　農商務省山林局員山林局事務官　山內頤

二　公有林野ノ整理
　東京帝國大學農科大學教授林學博士　川瀨善太郎
　農商務省山林局林業試驗場長林務技師林學博士　村田重治
　農商務省山林局地方課長農商務書記官　渡部忠壽

三　治水ト森林
　農商務省山林局員山林局事務官　千葉了
　東京帝國大學農科大學教授林學博士　川瀨善太郎
　農商務省山林局林業試驗場長林務技師林學博士　村田重治

四　林業ノ經濟
　農商務省山林局員農商務技師　望月常
　東京帝國大學農科大學教授林學博士　右田半四郎
　農商務省山林局林業試驗場長林務技師林學博士　村田重治
　盛岡高等農林學校教授　植村恒三郎

五　公有林ノ施業方法（附簡易ナル測樹及測地法）
　東京帝國大學農科大學教授林學博士　右田半四郎
　農商務省山林局員農商務技師　岡部喜平
　農商務省山林局員林務技師　小林正旭

六　造林方法ノ要訣
　東京帝國大學農科大學教授林學博士　本多靜六
　農商務省山林局員林務技師林學博士　白澤保美

七　森林利用上ノ趨勢
　農商務省山林局員農商務技師　望月常
　農商務省山林局員林務技師　佐藤鋠五郎

八　林地住民ト共生業
　農商務省山林局員林務技師　守屋重政
　農商務省山林局員林務技師　三村鐘三郎

九　歐米ニ於ケル林業ノ趨勢
　東京帝國大學農科大學教授林學博士　川瀨善太郎
　農商務省山林局員林務技師林學博士　白澤保美

以上ノ外適宜時間ヲ設ケ講習員中公有林野ノ整理ニ關シ實驗ニ富メル者ニ實驗談ヲ爲サシメタリ

證書授與式ノ際ニ於ケル農商務大臣ノ告辭

林業ノ興廢ハ國富ノ消長ニ至大ノ關係ヲ有スルノミナラス國土ノ安否ト公共團體ノ盛衰トニ關スルコト亦大ナリトス是レ林野講習會ヲ開催シテ斯業ノ發達ニ資セントスル所以ナリ今ヤ第一回林野講習會終了ヲ告ケ茲ニ證書授與ノ式ヲ擧ク惟フニ今回ノ講習會ハ事草創ニ屬シ或ハ未タ其全キヲ盡ササルモノアルヘシト雖モ講師及講習員諸君ノ熱心其事ニ當ラレタル效果ハ蓋シ至大ナルモノアルヘク本官ハ深ク諸君カ今後地方林業ノ先覺者トシテ斯業ノ振興ニ貢獻セラルル所少カラサルヘキヲ信シ國家ノ爲メ慶賀ニ堪ヘス冀ハクハ諸君能ク本會開催ノ趣旨ヲ體シ奮勵努力以テ各其任務ヲ盡サレンコトヲ一言以テ告辭ト爲ス

講習ヲ了シタル人名

聽講員

（京都府）宇治郡長丸野新八郎、船井郡長後藤善二、竹野郡長戸谷大次郎、葛野郡長櫻井文太郎、北桑田郡長篠田末五郎、（愛知縣）西加茂郡長榎本秀盛、東加茂郡長井深甚、額田郡長田中從義、幡豆郡長八名郡長內田勝起、（岐阜縣）加茂郡長上野錄二郎、可兒郡長寺田收一、（神奈川縣）足柄上郡長菊池芳二、（千葉縣）縣林業技師山本佐太郎、（山梨縣）縣技師中村三郎、縣林業技師井部榮甚、（岡山縣）阿哲郡長高塚松太郎、久米郡長飛田讓藏、（愛媛縣）上浮穴郡長松田虎次郎、（長崎縣）西彼杵郡長松永俊重、南松浦郡長小島和五郎、（熊本縣）玉名郡長中西正義、菊池郡長高野定義、上益城郡長香山豐熙、葦北郡長黑江軍太郎、天草郡長田中致知

講習員

福井縣

縣林業助手吉田稔、同塚田茂、縣屬稻葉淸、縣森林調査屬大谷太市、（坂井郡）竹田村山林監督員森安太郎、郡勸業技手杉尾英、（今立郡）河和田村助役奥田甚兵衛、同村書記山田文一、上池田村書記平井一英、（三方郡）耳村長立神音吉、（大飯郡）本鄕村書記猿橋識一、（大野郡）上庄村助役粂井彥右衛門、石徹白村長久保田松太郎、阪谷五箇組合村長伊藤牧夫、富田村長城地六右衛門、平泉寺村長靑木庄太郎、猪野瀨村長市村善五郎、村岡村長中村彥太郎、北谷村助役小林幸之助、（南條郡）南日野村長加藤伊作、（遠敷郡）郡勸業技手福田友次郎、熊川村長藤井孫助、中名田村書記中西一雄、奥名田村森口正德、福井縣農林學校助手加藤淸一郎、（大野郡）阪谷村助役水上萬藏、郡書記松本源祐

富山縣

（下新川郡）郡農業技手宮崎吉之助、郡農會技手三浦作二、松倉村助役河崎數造、東布施村書記岩田儀龍、內山村長田中太左衛門、愛本村長水野公正、南保村長勝原弘、（射水郡）金山村長高波義信、（西礪波郡）郡林業技手木下淸、宮島村長稻原太左衛門、太美山村長宮西米作、（東礪波郡）郡林業技手淺村榮、大鋸屋村長大藥孝文、（氷見郡）郡農業技手大石齊治、神代村農會長高倉伊平、同村農會員和泉弘殊、同藏太平、（婦負郡）細入村長本若憲彥、（上新川郡）福澤村助役伊藤滋松、（中新川郡）白萩村書記谷吉高行、郡林業技手白幡千賀之助、立山村助役佐伯新之、柏ノ木村助役山田孝之

新潟縣

縣技手安藤兎毛吉、（東蒲原郡）郡書記高山文平、津川町書記江川豐太郎、西川村書記齊藤恒太郎、東川村長渡部哲也、揚川村長坪谷誠吾、三川村長横井吉治、（西蒲原郡）峯岡村長秋山苗一郎、（南魚沼郡）郡書記田村堅一郎、六日町長山口千代松、土樽村長南雲長松、石打村長岡村信治、（西頸城郡）郡書記鱗原月洲、小瀧村長中村宗十郎、上早川村長加藤慶治、歌外波村長伊藤貫一郎、大和川村長岩崎松太郎、（中魚沼郡）郡書記中林房一郎、中條村長星名周殿、（岩船郡）郡書記早川久作、關谷村書記佐藤敬一郎、（南蒲原郡）鹿峠村長長谷川弘、森町村長早川誠吉、長澤村長石月佐傳治、森町村大字中野尾靑年和同會長熊倉信二、（北魚沼郡）郡書記河村銀二郎、藪神村長星野高二、入廣瀨村長佐藤金助、廣瀨村助役馬場藤太郎、（中頸城郡）郡書記淸水粕之進、杉野澤村助役原田政五郎、寺野村長日野光治、宮川村書記內藤周治、下黑川村長小田政治郎、杉野澤靑年團幹事永高賢一郎、（東頸城郡）郡書記柿沼織三郎、郡吏員布澤晉七、奴奈川村長西方福平次、松代村書記關谷佐太郎、（佐渡郡）郡書記川上多吉、河崎村長白井八十吉、澤根町長野崎將次、金澤村書記唐崎佐信次、畑野村助役中村仲右衛門、（北魚沼郡）湯ノ谷村助役星殿

石川縣

（能美郡）郡書記芳野貞成、同村上信義、郡林業技手宮城忠藏、鳥越村助役石倉敏英、粟津村書記小泉彌太郎、同室谷榮作、西尾村書記橋本市松、白峰村助役永井太平、大杉谷村助役堂坂房吉、新丸村收入役下道宗吉、縣技手大司賀來爲、（石川郡）上金石町助役唐三郎、鶴來町書記加島弘、林村書記小倉久二、內川村長田村利雄、吉野谷村長德田次一、額村長小寺喜一郎、犀川村長福岡庄次、粟崎村助役北川新藏、河內村書記河原利明、（河北郡）郡書記岩崎屆藏、同金子駒太郎、郡林業技手但馬廣造、淺川村書記村田善藏、小坂村書記淺永榮次郎、三谷村助役大野啓、俱利加羅村龍永田芳太、七塚村長龜田喜一郎、高松村書記金子十三郎、內灘村書記齋藤蒔雄、（羽咋郡）南大海村助役岡山喜保、北大海村長勝二理由、北莊村長秋田隆信、北志雄村助役山本平朔、北邑知村書記岡部庄之助、東土田村長岡島佐三郎、餘打村長國府藤次郎、稗造村長木原喜右衛門、堀松村長淵端三之丞、郡書記綿七三郎、同河崎平右衛門、郡林業技手岩田鎌二、（鹿島郡）郡書記杉森廣吉、同畑久一、郡林

第8554号　本文

業技手宮本甚太郎、中島村長米谷義松、德田村助役坂井助松、南大呑村長山崎榮次郎、越路村書記櫻井榮太郎、相馬村長橋本涉、（鳳至郡）郡書記多賀時太郎、同長峯寶太郎、郡林業技手寺尾敬二、柳田村長神村甚藏、七浦村長斯波六左衛門、宇出津町井東孝作、町野村助役泉吉太郎、南志見村書記橋上榮龍、三井村書記寺阪竹次郎、澂村書記黑阪秀一郎、地方森林會議員布施丑造、（珠洲郡）郡林業技手宮森太一郎、飯田町書記柴田宣次、直村長成之坊時三郎、寶立村書記小林勇次郎、正院村書記大橋幸知、木郎村書記中谷清之丞、若山村書記井林幸作、三崎村書記櫻井浩平、（金澤市）市書記補高田吉三郎、（江沼郡）郡林業技手福田照一、同石原谷村收入役小谷石太郎、縣技手清水義夫、三孝治、同間谷雄一、同小川他喜雄、縣林業技手小島勇、同芝山義次、同杉本尙度、同溫井誠一、同吉本與四郎、同乾新太郎、縣屬田中喜久太郎

（未完）

○種畜拂下　月寒種畜牧場ニ於テ種畜拂下規程ニ依リ出願者ニ拂下ケ得ル去月末日現在種畜左ノ如シ（農商務省）

種類	性	頭數	生年月	見積代價一頭ニ付キ
「エーアシャー」種牛	牡	一〇	自昨四十三年九月至本年四月	百九十圓以上二百五十圓以下
〃	牝	一〇	自昨四十三年十二月至本年四月	百五十圓以上百八十圓以下
「シンメンタール」種牛	〃	七	自昨四十三年十二月至本年四月	百四十圓以上二百圓以下
〃	〃	二	昨四十三年十一月	百五十圓
「ブラウンス井ツス」種牛	〃	三	昨四十三年十二月及本年三月	百七十圓及百六十圓
〃	〃	四	自昨四十三年十月至本年二月	百二十圓以上百五十圓以下
「サウスダウン」種緬羊	〃	七	―	十二圓
〃	〃	一八	―	十圓
「シロップシャー」種緬羊	〃	五	―	十二圓
〃	〃	一九	―	十圓

○汽船「トロール」漁業　明治四十二年農商務省令第三號汽船「トロール」漁業取締規則ニ依リ許可證ヲ下付シタルモノ左ノ如シ（農商務省）

許可番號　第七十一號

住所　大阪市西區川口町十四番乙地

氏名又ハ名稱　東洋捕鯨株式會社

船名　第一東洋丸

操業區域　日本海及九州沿海禁止區域以外ノ海面竝朝鮮海

許可期間　許可ノ日ヨリ十箇年

條件又ハ制限　（一）汽船煙突ノ上端ヨリ煙突ノ直徑ニ等シキ距離以下四呎ヲ白色其以外ハ全部黑色トシ白色部ノ中央兩舷側ニ許可證番號ヲ黑色ノ亞剌比亞數字ニテ表記スヘシ但シ數字ノ大サハ高サ一呎幅七吋以上タルヘシ、（二）操業ノ際在來ノ漁業ヲ妨害セサル樣注意スヘシ

許可年月日　明治四十四年十二月十九日

○鑛業事項　鑛業法ニ依リ處分シタルモノ左ノ如シ（農商務省）

試掘許可

登錄番號	鑛區所在地	鑛種	面積	鑛業權者住所氏名	許可及登錄ノ月日	事由
石川試登錄第二百六十一號	能美郡中海村地內	銅	一六七、五五八坪	石川縣能美郡小松町　永井伊助	一二、五	試掘願許可
滋賀試登錄第八十二號	高島郡川上村地內	金、銀、銅、硫化鐵	三〇七、四七〇	京都市上京區大黑町　小林タネ	一二、六	同
愛媛試登錄第五百七十三號	周桑郡千足山村地內	金、銀	三八七、三七五	愛媛縣新居郡西條町　遠藤初太郎	一二、七	同
岡山試登錄第五百十二號	上房郡上有漢村、有漢村地內	銀、銅、亞鉛	一六四、七〇〇	岡山縣川上郡落合村　松久要助	一二、七	同
福井試登錄第百五十一號	大野郡平泉寺村、勝山町地內	金、銀	四六九、三九二	福岡市西中洲　江口七三郎	一二、七	同
福井試登錄第百五十二號	同郡北鄕村地內	金、銀、銅	三七一、二二〇	東京市芝區三田功運町　石井千太郎	一二、一一	同
兵庫試登錄第三百二十七號	朝來郡山口村地內	銀、銅	一二三、六二六	姫路市龍野町一丁目　三宅猝治	一二、一一	同
膽振試登錄第二百九十三號	勇拂郡厚眞村地內	石油	四四三、一二四	東京府豐多摩郡大久保百人町　榊祐太郎	一二、一五	試掘鑛區減區願許可
膽振試登錄第二百九十四號	同	同	二一五、八五〇	同上	一二、一五	同
膽振試登錄第二百九十五號	同郡穗別村地內	同	一三三、〇三四	同上	一二、一五	同
根室試登錄第七號	目梨郡植別村地內	銀	六〇〇、〇〇〇	北海道根室國根室郡根室町大字彌生町　蓮沼福太郎	一二、一五	試掘願許可
北見試登錄第百二十二號	宗谷郡宗谷村地內	石炭	九七一、九五〇	東京市麻布區笄町　淡中孝八郎	一二、一六	同
北見試登錄第百二十三號	同郡稚內町、宗谷村地內	同	九七〇、五七〇	同上	一二、一六	同
北見試登錄第百二十四號	同郡稚內町地內	同	九九二、八六〇	同上	一二、一六	同

○通運

○船舶現在數　遞信省ノ調査ニ係ル去月末船舶現在數左ノ如シ（遞信省）

汽船

種別	船數	總噸數	登簿噸數
二十噸以上百噸未滿	八七三	三九、三四七	三〇、八三一
百噸以上三百噸未滿	三四七	六〇、三五八	三四、四七〇
三百噸以上五百噸未滿	九五	三七、一一五	二二、四四二
五百噸以上千噸未滿	一四一	一〇三、七四五	六四、三六三
千噸以上二千噸未滿	一三三	二〇一、九七三	一三〇、一一五
二千噸以上三千噸未滿	一一〇	二六八、九二五	一七五、七七八
三千噸以上四千噸未滿	六七	二三九、一〇三	一五〇、八〇四
四千噸以上五千噸未滿	二三	一〇一、五七二	六九、一五四
五千噸以上六千噸未滿	一一	五九、三四〇	三七、四〇七
六千噸以上七千噸未滿	二六	一六二、〇七六	九九、二七七
七千噸以上八千噸未滿	一	七、四六三	四、六二七
八千噸以上九千噸未滿	六	五一、〇七八	三一、六六七
九千噸以上一万噸未滿	一	九、二八七	五、七五七
一万噸以上	三	四〇、二六七	二一、七四四
合計	一、八三六	一、三七一、五四九	八六八、四三六
內千噸以上合計	三八一	一、一三〇、九八四	七二六、三三〇

帆船

種別	船數	總噸數	登簿噸數
二十噸以上百噸未滿	四、二一〇	二三一、八五七	二一六、七四七
百噸以上三百噸未滿	一、三〇二	一七三、二五一	一六二、三四八
三百噸以上五百噸未滿	五	一、九三八	一、五六六
五百噸以上千噸未滿	一	八二五	七七五
二千噸以上	一	二、四三九	一、七四一
合計	五、五一九	四一〇、三一〇	三八三、一七七

石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶

種別	船數	積石數
二百石以上三百石未滿	八三四	二一一、六六一
三百石以上四百石未滿	六七四	二三三、九二七
四百石以上五百石未滿	三四六	一五三、四〇九
五百石以上千石未滿	九八	六〇、五五七
千石以上	一	一、四三七
合計	一、九五三	六六〇、〇〇一

○船燈類製造免許　遞信省ニ於テ船燈信號器救命具取締規則ニ依リ船燈類製造ヲ免許セシモノ左ノ如シ（遞信省）

證書交付年月日	證書番號	品名種類	製造人住所氏名
四四、一二、一二	一九八	甲種舷燈第六號、乙種舷燈第三號、乙種兩色燈第二號、乙種檣燈第二號、碇泊燈第六號第七號、船尾燈第二號、甲種檣燈第三號	東京市京橋區本八丁堀五丁目十一番地　本多敏明
同	一九九	甲種舷燈第三號、乙種舷燈第二號、乙種檣燈第一號、乙種兩色燈第五號、碇泊燈第六號	名古屋市南區熱田須賀町八十二番戶　伊藤德治郎

○衞生

○醫術開業試驗成績　本年第二回醫術開業試驗ハ東京ニ於テハ九月一日ヨリ六日マテ、各地方ニ於テハ九月十一日ヨリ十五日マテ學說試驗ヲ施行シ尙ホ十月八日東京ニ於テ齒科技工學ノ再試驗ヲ施行セリ又九月二十日ヨリ十二月四日ニ至ル間東京、京都、熊本ノ三箇所（齒科實地ハ東京、京都ノ二箇所）ニ於テ實地試驗ヲ施行セリ其出願者數、及第者數、落第者數等左ノ如シ（文部省）

區分	人員	內實地
出願者總數	五、二〇七人	
內　前期出願者	一、一六一	
內　疾病事故ニテ缺席者	一四九	
中途缺席者	四三	
試驗完了者	九六九	
內　及第者	一〇〇	
落第者	八六九人	
後期出願者	二、八八三	六四一
內　疾病事故ニテ缺席者	一七〇	一三
中途缺席者	四九	六
試驗完了者	二、六六四	六二三
內　及第者	二五一	二一七
落第者	二、四一三	四〇六
內學說合格承認證ヲ交付セシ者	三八一	
齒科出願者	一、一六三	一〇九
內　疾病事故ニテ缺席者	六三	一
中途缺席者	三四	ナシ
試驗完了者	一、〇六六	一〇八
內　及第者	四五	四三
落第者	一、〇二一	六五
內學說合格承認證ヲ交付セシ者	三一	

○藥劑師試驗成績　本年第二回藥劑師試驗ハ東京ニ於テハ九月一日二日、各地方ニ於テハ同月十一日、十二日ノ各二日間ニ學說試驗ヲ施行シ又十月十九日ヨリ十一月八日ニ至ル間ニ東京、大阪ノ二箇所ニ於テ實地試驗ヲ施行セリ其出願者數、及第者數、落第者數等左ノ如シ（文部省）

區分	人員	內實地
出願者總數	一、九〇八人	二七四人
內　疾病事故ニテ缺席者	一九七	一一
中途缺席者	八三	五
試驗完了者	一、六二八	二五八
內　及第者	二一四	一四八
落第者	一、四一四	一一〇
內學說合格承認證ヲ交付セシ者	八七	

○雜事

○移民取扱出張所及支店廢置　元移民取扱人森岡眞ハ其營業權ヲ森岡移民合名會社ニ讓渡シタルニ依リ從前同取扱人ノ設置シタル出張所及支店ハ悉ク廢止シ又森岡移民合名會社ハ新ニ左記ノ支店及出張所ヲ設置シタル旨孰モ本月十三日附ヲ以テ屆出テタリ（外務省）

支店

南米秘露國里馬市パイヤドリッド町二百二番地

出張所

廣島縣深安郡福山町字西町二百十三番地

同縣廣島市河原町八十七番地

沖繩縣那覇區東一六八四番地

宮崎縣宮崎郡宮崎町大字上別府八十九番地

熊本縣熊本市鹽屋町五番地

同縣同市內坪井町七十五番地

宮城縣仙臺市光禪寺通六十八番地

鹿兒島縣鹿兒島市山下町三百五十三番地

福岡縣福岡市博多上祇園町二十八番地

滋賀縣犬上郡彥根町大字川原八十三番地

香川縣高松市大工町西ノ丁五十番地

山口縣玖珂郡柳井町大字柳井津三七九番地ノ一

同縣同郡同町大字柳井津四百四十一番地

同縣同郡麻里布村字室ノ木四七三番地

大分縣日田郡日田町大字隈二百六十八番地

同縣大分郡大分町字茶屋町千百九番地

○日本海員掖濟會月報　日本海員掖濟會各地出張所及高等海員養成所ニ於ケル去月中ノ事業成績左ノ如シ（遞信省）

科目／所名	橫濱	品川	大阪	神戶	函館	長崎	門司	小樽	國後丸	計	本年度累計
養成水火夫採用人員	四八	―	三九	二五	七	七	二二	八	二三	一七七	一、四五三
同成業人員	一八	―	一八	一〇	四	四	一〇	五	一九	八八	五六一
高等海員養成所入學者	―	五	―	二	―	二七	―	―	―	三四	二三八
同卒業者	―	二	―	一	―	二六	―	―	―	二九	一四六
各船舶供給海員數	二〇三	二四	二五三	二〇六	二八	二四	一八二	三五	―	九五五	一〇、〇九二
寄宿所入舍海員數	三五	―	四八	四四	一〇	二〇	一六	―	―	一七三	一、二二八
收容傷病海員數	四一	―	八三	二〇	五	二五	二六	二八	―	二二八	二、一六五

○地方行政

○府縣會　東京府ニ於テ去月二十八日開會ノ通常府會、市部會、郡部會ハ議事結了本月二十日閉會セリ（東京府）◉巖手縣ニ於テ滿ニ開會ノ通常縣會ハ議事結了本月十九日閉會セリ（巖手縣）◉鳥取縣ニ於テ去月十五日ヨリ開會ノ通常縣會ハ議事結了本月十四日閉會セリ（鳥取縣）

○縣歲入出及罹災救助基金收支決算額　福井縣ニ於ケル明治四十三年度縣歲入出及罹災救助基金收支決算額左ノ如シ

△印ハ減（福井縣）

歲入

科目	決算額	豫算額	比較增減
經常部	圓	圓	圓
地租割	四五一、五六七・三九五	四五二、〇八一・九二一	△五一四・五二六
營業稅	五九、二六三・四九〇	五六、九一四・六二〇	二、三四八・八七〇
雜種稅	一一六、〇五三・四六〇	一〇四、一三三・九二〇	一一、九一九・五四〇
營業稅附加稅	二三、五八六・八八〇	二六、七七一・四二〇	△三、一八四・五四〇
所得稅附加稅	八、一〇五・二五五	九、五三三・九〇〇	△一、四二八・六四五
鑛業稅附加稅	五六七・八九〇	一、一〇五・二二〇	△五三七・三三〇
戶數割	二四四、二九一・五九〇	二四四、四八三・七九〇	△一九二・二〇〇
家屋稅	二一、一六八・三五〇	二一、一八六・三八〇	△一八・〇三〇
財產收入	七一・七八二	二五三・八八五	△一八二・一〇三
國庫下渡金	三〇、三八五・一〇〇	三〇、五八四・六八〇	△一九九・五八〇
雜收入	七三、八七二・六〇七	六九、三九九・九八〇	四、四七二・六二七
合計	一、〇二八、九三三・七九九	一、〇一六、四四九・七〇六	一二、四八四・〇九三
臨時部			
繰越金	一一四、三五五・二七五	九八、七三一・九二九	一五、六二三・三四六
國庫補助金	三五、九三九・三四〇	三六、四五三・五四〇	△五一四・二〇〇
財產賣拂代	一五一・七五〇	二四・〇〇〇	一二七・七五〇
寄附金	二、三四〇・〇〇〇	二、三四〇・〇〇〇	―
縣立學校基本財產繰入金	六、一九〇・〇〇〇	六、一九〇・〇〇〇	―
合計	一五八、七七六・三六五	一四三、七五九・四六九	一五、〇一六・八九六
總計	一、一八七、七一〇・一六四	一、一六〇、一八九・一七五	二七、五二〇・九八九

歲出

科目	決算額	豫算額	比較增減
經常部			
警察費	一七一、五五三・三三六	一七二、九六三・一四〇	△一、四〇九・八〇四
警察廳舍修繕費	二、六四一・二四〇	二、五一〇・〇〇〇	一三一・二四〇
土木費	一七一、一〇五・三〇〇	一七〇、三四三・八六七	七六一・四三三
縣會議諸費	七、三八七・八二五	八、六五六・七七〇	△一、二六八・九四五
衞生及病院費	八、五三一・一六〇	九、三三一・六六五	△八〇〇・五〇五
教育費	一六二、四四七・九五四	一六二、〇三六・五五〇	四一一・四〇四
郡廳舍修繕費	九五九・八六五	一、〇一六・五三〇	△五六・六六五
郡役所費	五八、三七四・四〇六	五八、四六九・九五〇	△九五・五四四
救育費	四二三・七一〇	五八一・〇〇〇	△一五八・二九〇
諸達書及揭示諸費	一、二九一・七一〇	一、四五三・九八八	△一六二・二七八
勸業費	一〇六、二九三・一四六	一〇九、一〇三・九〇〇	△二、八一〇・七五四
縣稅取扱費	一九、五三四・七一六	二〇、六七一・八五〇	△一、一三七・一三四
縣廳舍修繕費	五六〇・四三六	四〇七・九五〇	一五二・四八六
議員選擧費	九三・八四〇	一〇五・三三〇	△一一・四九〇

第8554号　本文

第8554号 本文

科目	本年度	前年度	比較增減
縣吏員費	三五、一九九・六六五	三五、五一四・四八〇 △	三一四・七七五
財產費	一二三・八二〇	一三〇・二〇五 △	六・三八五
行政執行費	—	五〇・〇〇〇 △	五〇・〇〇〇
收入諸費	—	一三五・三一〇 △	一三五・三一〇
縣統計費	六七〇・八七〇	六九八・〇〇〇 △	二七・一三〇
社寺費	二〇〇・〇〇〇	二〇〇・〇〇〇	—
豫備費	—	六、〇〇〇・〇〇〇	六、〇〇〇・〇〇〇
雜出	三三〇・一六九	—	三三〇・一六九
合計	七四五、七四三・一六八	七六八、三八八・四〇五 △	二二、六四五・二三七
臨時部			
警察廳舍建築費	九、三六九・六八〇	九、三七七・〇〇〇 △	七・三二〇
土木費	七七、二七二・二〇〇	七七、四三一・七五一 △	一五九・五五一
郡市町村土木補助費	四三、九四四・一四〇	四四、一五三・八四八 △	二〇九・七〇八
市町村衞生補助費	三、五七八・〇一〇	七、〇〇〇・〇〇〇 △	三、四二一・九九〇
教育費	一一、九七〇・九三〇	一二、六七七・二〇〇 △	七〇六・二七〇
教育補助費	一七、三七九・〇四〇	一七、三七九・〇四〇	—
郡廳舍建築費	一三、四二八・二六〇	一三、四六五・八八〇 △	三七・六二〇
勸業費	三五八・五四〇	四〇九・〇〇〇 △	五〇・四六〇
勸業補助費	一四、六四九・二六〇	一六、六七五・〇〇〇 △	二、〇二五・七四〇
慈惠救濟資金支出	五〇〇・〇〇〇	五〇〇・〇〇〇	—
九頭龍川改修費負擔	九九、六七〇・九八〇	九九、六七〇・九八〇	—
府縣聯合共進會費本年度支出額	二、七〇三・四二五	三、〇五六・九六〇 △	[illegible]
物產陳列場費本年度支出額	二九、九九七・三一〇	一四、三四〇・〇〇〇	一五、六五七・三一〇
小學校教員恩給金補充	一一、五七三・一六〇	一四、一五九・一五六 △	二、五八六・九九六
縣吏員恩給資金補充	三三三・八〇〇	[illegible]	[illegible]
代用感化院補助費	一、〇五五・五四〇	一、三八六・六六〇 △	三三一・一二〇
模範林費	五四九・七三〇	五七五・四二九 △	二五・六九九
日英博覽會補助費本年度支出額	七六八・九一〇	九八〇・五〇〇 △	二一一・五九〇
模範林地買入費	六、一九三・六九五	六、一九三・六九五	〇・〇〇〇
總計 入合計	三三四、一五九・三六五	三三八、八八九・〇四七 △	五、七三〇・三一八
出合計	一〇八九、九〇二・五三三	一〇九六、七一七・四二二 △	六、八一四・八九九

羅災救助基金收支

	本年度	前年度	比較增減
收入	一〇〇、四四九・二六七	一〇五、六九五・〇九〇 △	五、二四五・八二三
支出	八九、六五七・四〇五	一〇四、六九五・五〇〇 △	一五、〇三八・〇九五

○在外公館報告

○傳染病月報　汕頭ニ於テ去月中傳染病患者死者共ニ皆無ナル旨在同地帝國領事館ヨリ報告アリ（去月二十八日發本月十八日著　外務省）

○福州製茶市況　福州ニ於ケル製茶市況（第十次及第十一次）ニ付キ同地駐在領事代理副領事土谷久米藏ヨリ本月六日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（去月二十四日本欄內參看）（外務省）

第十次（自十月二十一日至十一月十日）

（一）市況　武昌變動以來一時市場引立タス相場モ一兩乃至三兩方ノ下落ヲ見タリシカ本期間ニ於テハ暫ク手控ヘ居リタル各洋行ハ豫想以上ノ買付ヲ爲シ市場稍々活潑ヲ呈シ各種製茶共相當ノ賣行アリ特ニ烏龍茶ハ二万七千四百六十一箱「チェスト」ノ取引高ヲ示セリ然レトモ相場ハ依然トシテ低落ノ姿ナリ

（二）自十月二十一日至十一月十日取引高、相場附昨年度同期相場

種類	取引高（箱「チェスト」）	本年度相場（兩）	昨年度相場（兩）
白琳	六八三	一七・〇〇—一九・七五	一四・五〇—一四・七五
板洋	三、〇〇五	一四・五〇—二六・〇〇	一四・〇〇—一七・五〇
政和	三〇〇	一五・〇〇—二二・〇〇	—
水吉	二一四	一五・〇〇	—
沙縣	九四八	一四・二五—一五・五〇	一一・〇〇
洋口	三六二	一六・〇〇—一六・五〇	一三・五〇
東糖	一、八二七	一四・五〇—一八・五〇	九・〇〇
粗茶	一、五一八	六・〇〇—一三・五〇	一一・〇〇
福州風片茶	一、〇〇〇	一六・五〇	
以上工夫茶			
小種	二、三八七	一三・〇〇—二五・〇〇	一一・二五—一七・〇〇
烏龍	二七、四六一	一七・〇〇—一九・七五	一六・五〇—一九・五〇
花香	一、一〇〇	二五・〇〇—三一・〇〇	二四・〇〇

（三）本年度開市以來十一月十日ニ至ル著荷高、取引高及昨年度同期トノ比較

種類及年度		著荷高（箱「チェスト」）	取引高（箱「チェスト」）	在荷高（箱「チェスト」）
工夫	本年度	一九〇、〇〇〇	一八一、六七三	八、三二七
	昨年度	一五〇、〇〇〇	一四〇、三七九	九、六二一
小種	同	一〇一、〇〇〇	九八、六六八	二、三三二
	同	七五、〇〇〇	七一、二一三	三、七八七
烏龍	同	六七、二一〇	四五、四八〇	[illegible]
	同	八五、五〇〇	一七、七三二	六七、七六八
花香	同	「ボックス」二二、五〇〇	「ボックス」二一、七〇〇	「ボックス」八〇〇
	同	三〇、〇〇〇	二九、四六〇	五四〇
白毫	同	「チェスト」九、一〇〇	「チェスト」八、〇八〇	「チェスト」一、〇二〇
	同	九、〇五〇	八、一七六	八七四

（四）自十月二十一日至十一月十日輸出高及仕向地

種類	輸出月日	船名	數量（封）	仕向地
烏龍	十月二十一日	新裕	四、四〇〇	北清
花香	同	同	二、九三三	同
小種	同二十五日	海陽	二、六一九	佛國
工夫	同	同	三四、六六四	獨逸及和蘭
小種	同	海壇	四三、四七一	濠國及獨逸
白毫	同	同	四、四六七	濠國、獨逸及其他
工夫	同二十七日	撫順丸	四、八〇〇	合衆國及加奈陀
同	同二十八日	海澄	三三、七〇三	同
同	同	「⊕スマトラ」	一八四、四〇七	和蘭、香國及其他
小種	同	同	九、〇七二	和蘭及英國
烏龍	同	同	二三、二四九	英國
花香	同	同	一四、九一七	同
雜種	同	同	一四、三二九	英國及其他
工夫	十一月四日	海壇	六〇、四〇八	英國
小種	同	同	二五、二二九	獨逸及英國
白毫	同	同	四、五九五	不明
雜種	同	同	六、五三三	同
小種	同八日	海澄	一三、九六〇	濠國及獨逸
白毫	同	同	二、五七〇	不明
雜種	同	同	一三三	同
開市以來輸出高總計			一七、四〇三、八〇五	

第十一次（自十一月十一日至十二月一日）

（一）市況　相場ハ依然トシテ値安ナレトモ爲替相場ニ於テ銀貨騰貴ノタメ歐米ヨリノ注文少ケレハ當地市場ニ於テ小取引ノ行ハルヽノミ特ニ烏龍茶ノ取引高ノ減少シタルハ其色合ノ不良ナルヨリ重ナル需要地タル米國カ注文ヲ手控ヘタルカタメナリ而シテ清國各港ヘノ輸出モ時局ノ影響ヲ受ケテ甚タ不活潑ナリ

（二）自十一月十一日至十二月一日取引高、相場附昨年度同期相場

種類	取引高（箱「チェスト」）	本年度相場（兩）	昨年度相場（兩）
板洋	二、一七七	一四・〇〇—二五・〇〇	一三・五〇—一九・二五
洋口	一七四	一六・〇〇	—
沙縣	一〇一	一六・七五	—
東糖	二六二	一一・〇〇—一三・五〇	一二・二五—一三・〇〇
粗茶	一、四五三	五・二五—一〇・二五	九・〇〇—一四・二五
福州風片茶	四二四	一二・〇〇—二三・五〇	四・〇〇—五・〇〇
以上工夫茶			
小種	四九三	一三・二五—一五・五〇	一〇・五〇—一六・〇〇
烏龍	三、五九四	一七・〇〇—一九・二五	一三・五〇—一六・四〇
白毫		三二・〇〇	

（三）本年度開市以來十二月一日ニ至ル著荷高、取引高及昨年度同期トノ比較

種類及年度		著荷高（箱「チェスト」）	取引高（箱「チェスト」）	在荷高（箱「チェスト」）
工夫	本年度	一九一、〇〇〇	一八五、二七四	五、七二六
	昨年度	一五五、〇〇〇	一五四、六一二	三八八
小種	同	一〇一、五〇〇	九九、一六一	二、三三九
	同	七五、〇〇〇	七三、七〇〇	一、三〇〇
烏龍	同	六八、二八二	四九、〇七四	一九、二〇八
	同	八九、〇〇〇	三四、五二九	五四、四七一
花香	同	「ボックス」二二、五〇〇	「ボックス」二一、七〇〇	「ボックス」八〇〇
	同	三〇、〇〇〇	二九、四六〇	五四〇
白毫	同	「チェスト」九、一〇〇	「チェスト」八、〇九六	「チェスト」一、〇〇四
	同	九、〇五〇	八、二八一	七六九

（四）自十一月十一日至十二月一日輸出高及仕向地

種類	輸出月日	船名	數量（封）	仕向地
工夫	十一月十一日	「⊕セネカ」	二三三	合衆國及加奈陀
烏龍	同	同	七五三、九〇九	同
雜種	同	同	二一、三四〇	同
烏龍	同十二日	海陽	二、三三三	同
工夫	同	「⊕マルタ」	一六六、二九五	和蘭及英國
小種	同	同	九三、六六一	濠國、和蘭、英國及其他
烏龍	同	同	五七、三三三	英國
白毫	同十五日	海壇	一、六五五	獨逸
工夫	同	同	三九、三三七	英國
小種	同	同	四三、三三三	濠國
烏龍	同十六日	「⊕ヴァンタリア」	四〇二、〇三六	合衆國及加奈陀
同	同	新裕	四三、七八一	同
工夫	同	海澄	一三、二九五	獨逸及其他
白毫	同十八日	同	九、六八九	不明
工夫	同	同	四七、七〇一	南米
小種	同	同	五三三	獨逸
烏龍	同	同	一三〇	南清
白毫	同二十二日	「⊕ネーマー」	一二三、九五三	不明
工夫	同	同	二四、四九三	獨逸及英國
小種	同	同	一二七、一四四	濠國及英國
烏龍	同	同	四、九一三	英國
白毫	同二十五日	同	五、三四〇	同
雜種	同	同	四五七、六四三	同
工夫	同	「⊕インドラマヨ」	四、九一三	合衆國及加奈陀
烏龍	同	同	一五、二一五	同
工夫	同	海壇	一三、七八〇	同
烏龍	同二十九日	同	一〇、八一六	同
工夫	同	海澄	一、九二〇	獨逸、合衆國及加奈陀
小種	同	同	[illegible]	佛國
雜種	同	同	[illegible]	英國
開市以來輸出高總計			一九、九七九、八一三	

（備考）⊕印ノ船舶ハ茶積取ノタメ特ニ入港セルモノナリ

○里昂生絲及羽二重市況　里昂ニ於ケル生絲及羽二重市況ニ付キ同地駐在副領事木島孝藏ヨリ本月二十日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ（本月九日本欄內參看）（外務省）

生絲閑散商談皆無一番中器械絲九乃至十一「デニール」相場三十八法二五見當、在荷五、九〇二「バール」相場四十一法七五見當、一番中器械絲十三乃至十五「デニール」相場三十八法二五見當、在荷五、九〇二「バール」

羽二重沈靜越前尺五、六付四十法見當、在荷二、五七五函

○觀象

○全國氣象　十二月二十二日

區	觀測所	氣壓 午前六時	溫度 午前六時	溫度 最高	溫度 最低	風 風向	風 風速	雨量 廿四時間	天氣
第一區～第十區	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

（備考）＋ヲ付シタルハ海面更正ヲ施サス　＊ヲ付シタル數ハ風力ヲ示ス　氣溫ノ最高最低ハ前日ノ觀測ニ依ル

○天氣概況　低氣壓新ニ八重山群島ノ沖合ニ現レ北東ニ進行シ琉球南部ニ接近シツヽアリ而シテ高氣壓ハ北淸ヨリ黃河ノ流域ニ擴張シ其示度七百八十粍ヲ降ラスト雖モ漸次衰頽ニ傾ケリ　琉球列島ニテハ雨ヲ催シ沖繩島ニテハ風稍〻加ハリ風雨强カラントスル模樣アリ　京阪以西ハ概シテ曇天ト爲リタリ然レトモ京阪以東ハ概シテ快晴ニシテ寒氣强シ　奧羽及北海道南西部ニテハ北西ノ風强ク風雪稍〻烈シ滿洲及朝鮮ニテハ天氣晴朗ニシテ北風卓越ス

○全國天氣豫報

自十二月二十二日午後六時至十二月二十三日午後六時二十四時間ノ天氣豫報　二十二日發

第一區　北東ノ風、概ネ曇ナレトモ雨模樣アリ
第二區　北西ノ風、概ネ曇少雨後晴
第三區　第二區ニ同シ
第四區　北西ノ風、概ネ曇
第五區　北西ノ風、概ネ晴ナレトモ一時曇ラントスル模樣アリ
第六區　第五區ニ同シ
第七區　北西ノ風、概ネ曇ナレトモ雪模樣アリ
第八區　北西ノ風、概ネ晴
第九區　第七區ニ同シ
第十區　第八區ニ同シ

○東京地方天氣豫報

北西ノ風、晴一時曇ラントスル模樣アリ

○東京氣象

十二月二十一日

氣壓（海面ノ度）平均	七六六・二粍	日照時間	二・四時
氣溫 平均	四・〇度（平年ヨリ〇・二度低シ）	風 平均速度	四・三米
最高	六・六度	最大速度	六・三米
最低	〇・三度	最多方向	北北西
濕度 平均	四九・〇％	降水 總量	―粍
水蒸氣張力 平均	二・九粍	一時間最大量	―粍
雲量 平均	五・七	蒸發 總量	一・四粍
		記事	―

○地震　宇都宮ノ地震報告左ノ如シ

十二月十九日　午後十時十三分一秒　微　性質急

（以上中央氣象臺）

○廣告

○軌道財團

今般美濃電氣軌道株式會社ヨリ所屬軌道全線路ニ對シ軌道ノ抵當ニ關スル法律第二條ニ揭クル物件ヲ以テ軌道財團ヲ組織シ抵當權設定認可ヲ申請セリ依テ該軌道財團ニ屬スヘキ物權ニ關シ所有權以外ノ物權ヲ有スル者、差押、假差押若クハ假處分ノ債權者又ハ該軌道財團ニ屬スヘキ不動產ニ關シ賃借權ヲ有スル者ハ明治四十五年一月二十三日マテニ申出ツヘシ

明治四十四年十二月二十三日　　内閣總理大臣　侯爵西園寺公望

○貸借對照表ノ件

銀行會社ニシテ貸借對照表ヲ官報ニ揭載ヲ望ム向ハ當局ノ定ムル官報廣告手續ニ依リテ之ヲ請求セラルヘシ

明治四十四年十二月　　印刷局

○官報廣告手續

明治三十二年十二月二十八日內閣告示第一號ニ依リ廣告料ヲ徵收スヘキ官報廣告手續大凡左ノ如シ

明治四十四年十二月　　印刷局

一原稿ノ字體ハ正楷ニ限ル
一用紙ハ罫紙ヲ用ヒ一行ツヽヲ隔テ列記スルヲ要ス但シ數回揭載ヲ要スル向ハ一行三十四字詰ノ縱橫罫紙ヲ作リ置キ之ニ記載スルコト最モ便ナリトス
一揭載ヲ要スル日數ト活字號數トハ之ヲ原稿中ニ記入セラルヘシ
但シ本文ハ六號活字ニ限リ四號又ハ五號活字ハ末行ノ記名（株式會社、日本郵船會社等ノ名稱）ニ限ル
一初行ニ置ク四號活字ノ標目ハ事類ニ應シテ當局之ヲ撰記スヘキニ依リ各自ノ撰定ニ任セテ廣告料ヲ徵收スルノ限ニアラス
一廣告料ハ左ノ割合ヲ以テ納金セラルヘシ

四號活字	一行（二十六字詰）	一回	金四十五錢
五號活字	一行（三十四字詰）	一回	金四十錢
六號活字	一行（四十五字詰）	一回	金三十錢

罫表等ヲ挿入スルモノハ前項ニ比準シ行數ニ見積リテ計算ス又（　）或ハ「　」ハ一字トシテ計入ス
右一行何字詰トアルハ章句ノ連續セルモノヽ計算ニシテ其他ハ總テ字詰ニ依ラス行數ニ應シテ計算スルモノトス
一同一事項ニシテ記載方多岐ニ涉ルモノハ當局ニ於テ一定ノ文例ニ依リ實際揭載ノトキ斟酌スルコトアルヘシ
前數項ノ例規ニ準據セサル廣告ハ返戾スルコトアルヘシ

○列車運轉時刻改正

播但線長谷生野間向山隧道故障ノタメ線路不通ニ付キ該隧道兩端ニ假乘降場ヲ設ケ乘換接續ヲ開始ス
依テ本月二十日ヨリ當分ノ間同線列車時刻ノ一部變更休止竝ニ增設等左ノ通施行シ同十六日廣告ニ係ル同線列車時刻ノ一部變更ハ當分實施セス
追テ徒步區間約十一町ニシテ人力車ヲ通セス尙ホ詳細ハ關係停車場ニ揭示ス

明治四十四年十二月　　鐵道院

乘換接續ノ列車及時刻變更區間

下リ
姫路發午前五時十分　香住行（長谷香住間時刻變更）
姫路發午前九時五分　香住行（福崎香住間時刻變更）
姫路發午前十一時二十八分（元午前十時四十二分發ノ分）香住行（姫路香住間時刻變更）
姫路發午後二時五十四分　香住行（長谷香住間時刻變更）
姫路發午後四時五十分　城崎行（長谷八鹿間時刻變更）

上リ
城崎發午前六時　姫路行（生野姫路間時刻變更）
香住發午前六時五十五分　姫路行（生野姫路間時刻變更）
香住發午前九時三十分　姫路行（生野姫路間時刻變更）
香住發午後十二時三十分　姫路行（生野姫路間時刻變更）
香住發午後三時三十五分　姫路行（生野姫路間時刻變更）

發著驛變更及直通廢止列車

下リ
馬場發午前五時十分香住行ハ姫路行ニ變更シ播但線ト直通セス
姫路發午後七時二十三分和田山行ハ長谷行ニ變更シ長谷和田山間休止ス

上リ
和田山發午前四時五十五分姫路行ハ長谷發午前六時二十五分トシ和田山長谷間休止ス
香住發午後十二時三十分馬場行ハ姫路行ニ變更シ本線ト直通セス

增發列車
和田山發午前六時　現場行
生野發午前九時五十五分　和田山行

○歲末御祝詞言上方

本月二十九日ヨリ三日ノ內位勳ヲ有スル者ハ參內歲末御祝詞言上スヘシ
但シ通常服「フロックコート」著用且ツ御門鑑所持ナキ者ニ限リ位勳ヲ記載シタル名刺ヲ持參スヘシ

明治四十四年十二月　　式部職

○拜賀參賀者服裝

本月二十二日宮內省告示第十九號ヲ以テ明治四十五年新年式ヲ定メラレタルニ付キ拜賀又ハ參賀ノタメ參內ノ有位者及有位有勳者ハ位階相當ノ大禮服無位有勳者ハ通常禮服（燕尾服）著用勳章本綬佩用スヘシ
但シ婦人ハ大禮服「ローブ、ド、クール」又ハ袿袴著用ノコト

明治四十四年十二月　　式部職

（二〇）

○參拜時限

明治四十五年一月三日元始祭ニ付キ非役從二位以下同勳二等以下ノ者ハ正午十二時ヨリ午後一時マテニ參拜スヘシ
但シ有位者及有位有勳者ハ位階相當ノ大禮服無位有勳者ハ通常禮服（燕尾服）著用勳章本綬佩用ノコト

明治四十四年十二月　　式部職

○工場財團

左記動產ニ對シ工場財團所有權保存ノ登記申請ヲ爲シタリ仍テ該動產ニ付キ權利ヲ有スル者又ハ差押假差押若クハ假處分ノ債權者ハ明治四十五年一月二十五日マテニ其權利ヲ申出ツヘシ

明治四十四年十二月二十三日　　姫路區裁判所

工場ノ名稱及位置兵庫縣姫路市北條口八十三番地播磨水力電氣株式會社主タル營業所前同所工場財團ニ屬スヘキ動產八百馬力「フランシスシングルスパイラル」水車金屬製二基瑞西「エッシャーウイス」會社製作西曆千九百十一年　同上用整調機金屬製二基　前同會社製作前同年水車用附屬鐵管「ストップバルブ」等附屬品金屬製一式　前同會社製作前同年三相交流六十「サイクル」二千三百「ヴォールト」六百「キロヴォールトアンペヤー」發電機金屬製二基米國「ゼネラルエレクトリック」會社製作　西曆千九百十一年四〇一四六八號四〇一四六七號百二十五「ヴォールト」二十「キロワット」勵磁用直流發電機金屬製二基前同會社製作前同年三二七三五一號　三二七二三六號　一次二千三百二次二万二千「ヴォールト」六十「サイクル」單相油入水冷式四百「キロヴォールトアンペヤー」變壓器金屬製三基　前同會社製作　前同年八二一〇七八號八二一〇七九號　八二一〇七七號「ソリッドパック」電話機金屬及木製一箇　東京日本電氣會社製作　明治四十四年同上用十二號B保安器陶器製一箇　前同會社製作前同年同上「バックボート」木製一枚　前同會社製作前同年同上用「レクランシー」電池（藥品共）硝子製一組前同會社製作　前同年發電機用配電盤大理石製二面米國「ゼネラルエレクトリック」會社製作西曆千九百十一年　變壓器用配電盤大理石製一面　前同會社製前同年勵磁機電機用配電盤大理石製一面東京芝浦製作所製作明治四十四年二万二千「ヴォールト」用「マルチプルギャップ」避雷機金屬及陶器製二組　米國「ゼネラルエレクトリック」會社製作　西曆千九百十一年變壓器冷却用水瓦斯管金屬製七十呎、配電盤四面ニ對スル附屬器具電線類等使用狀態ニ於ケル有形ノ儘一式、一次二万二千二次三千五百「ヴォールト」六十「サイクル」單相油入自冷式二百「キロヴォールト、アンペヤー」變壓器金屬製六基東京芝浦製作所明治四十四年特別高壓受電盤大理石製二面前同所製作前同年變壓器用配電盤大理石製一面前同所製作前同年高壓饋電盤大理石製二面　前同所製作前同年特別高壓送電盤大理石製一面前同所製作前同年二万二千「ヴォールト」用「マルチプルギャップ」避雷器金屬及陶器製三組前同所製作前同年「ソリッドパック」電話機金屬及木製二箇東京日本電氣會社製作明治四十四年同上用十二號B保安器陶器製二箇前同會社製作前同年同上用「バックボード」木製二枚前同會社製作前同年同上用「レクランシー」電池（藥品共）硝子製二組前同會社製作前同年配電盤六面ニ對スル附屬器具電線類等使用狀態ニ於ケル有形ノ儘一式、二万二千「ヴォールト」用「マルチプルギャップ」避雷器金屬及陶器製二組東京芝浦製作所製作明治四十四年同避雷器用附屬器具電線等使用狀態ニ於ケル有形ノ儘一式、電線BS三番裸引裸銅線三十九万六千呎古河鑛業會社製作明治四十四年電線SWG八番亞鉛引鐵線二十六万三千呎電線SWG八番亞鉛引鐵線十三万一千呎携帶電話用八十六A保安器陶器及金屬製八箇　東京日本電氣會社製作明治四十四年同上用十二A保安器陶器及金屬竝ニ木製八箇前同會社製作前同年携帶電話機前同製四箇前同會社製作前同年電柱末口一尺長サ七十尺檜材二本同末口九寸長サ六十尺檜材七本同末口九寸長サ五十五尺檜材六本前同年同末口八寸長サ五十尺檜材三十五本前同年同末口七寸長サ四十五尺檜材八本同末口六寸五分長サ四十尺檜材三十四本前同年同末口六寸長サ三十三尺檜材八百七十八本前同年右特別高壓送電線路ノ電柱九百七十本ニ取付アル支柱支線根架腕金「ボールト」地中銅板地線用銅線及碍子等使用狀態ニ於ケル有形ノ儘一式（電線BS一番木綿被覆銅線二万八千呎古河鑛業會社明治四十四年同BS三番木綿被覆銅線五万四千呎前同會社製作前同年前同四番同七万呎前同會社製作前同年前同六番同一万呎前同會社製作前同年前同八番同五千呎前同會社製作前同年前同十番同五千呎前同會社製作前同年前同十二番同五千呎前同會社製作前同年同BWG八番木綿被覆銅線二万呎　前同會社製作前同年非常用開閉器金屬製十箇柱上用變壓器五「キロ」金屬製三箇東京明電舍製作明治四十四年同三「キロ」十箇前同會製作前同年同二「キロ」十五箇前同會製作前同年同一「キロ」十五箇前同會製作前同年柱上變壓器片切「スイッチ」金屬及陶器製八十六箇前同會製作前同年大形「ケッチホルダー」金屬及陶器製八十六箇「フィルムカットアウト」金屬製四十三箇大阪電燈株式會社製作明治四十年電柱末口六寸長サ三十三尺檜材百二十二本同末口六寸五分長サ四十尺檜材五本同末口八寸長サ五十尺檜材一本同末口五寸五分長サ三十尺杉材三百四十三本同末口六寸長サ三十三尺杉材二十八本同末口六寸長サ三十五尺杉材六十五本同末口六寸五分長サ四十尺杉材十六本同末口七寸長サ四十五尺杉材二本右配電線路ノ電柱五百八十二本ニ取付ケアル支柱支線根架腕木腕金「ボールト」碍子「ケッチホルダー」及足場釘等使用狀態ニ於ケル有形ノ儘一式

○登記公告方

明治四十五年中當區裁判所竝ニ管內各出張所ノ取扱ニ係ル商業其他法定ノ登記公告ハ岡山縣岡山市ニ於テ發行スル山陽新報及中國民報ニ揭ケテ之ヲ公告ス

明治四十四年十二月

岡山區裁判所
津山區裁判所
玉島區裁判所
高梁區裁判所
新見區裁判所
笠岡區裁判所
勝山區裁判所
片上區裁判所

明治四十五年中當區裁判所竝ニ管內各出張所ノ取扱ニ係ル商業其他法令ノ規定ニ依ル登記公告ハ鹿兒島縣鹿兒島市ニ於テ發行スル鹿兒島新聞及鹿兒島實業新聞ニ交互一回之ヲ揭載ス

明治四十四年十二月　　大島區裁判所

明治四十五年中當區裁判所竝ニ管內出張所ノ取扱ニ係ル商業其他法定ノ登記公告ハ北海道小樽區ニ於テ發行スル小樽新聞ニ揭載ス

明治四十四年十二月　　增毛區裁判所

（二一）

○檢定教科用圖書

中學校數學科用
新式算術教科書　全一册　定價金五十七錢
明治四十四年十二月十八日訂正再版發行
著作者　岐阜縣平民　高木貞治
發行者　東京府東京市小石川區小日向水道町七十三番地東京府平民　西野虎吉

中學校外國語科用
Tales East and West.　全一册　定價金二十二錢
明治四十四年十二月十八日訂正再版發行
著作者　寶文館編輯所
發行者　東京府東京市日本橋區本石町三丁目十七番地岐阜縣平民　大葉久吉
發行者　大阪府大阪市東區備後町四丁目三十七番地大阪府平民　吉岡平助

右孰モ明治四十四年十二月二十一日檢定ス

明治四十四年十二月　　文部省

○證書無效

第六八號　汽船ヘルム第壹號甲種船舶檢查證書　所有者　カールヘルム
右流失ノ旨屆出ニ依リ無效トス

明治四十四年十二月　　遞信省

第8554号 本文

○生徒募集

明治四十四年十一月　　朝鮮總督府中學校

一　（略）

二　（略）

三　（略）

四　（略）

○免官免職及辭令

明治四十四年十一月　　神奈川縣

（略）

明治四十四年十一月　　兵庫縣

（略）

明治四十四年十一月　　福島縣

（略）

明治四十四年十一月　　山口縣

（略）

○大字名改稱

明治四十四年十一月　　新潟縣

（略）

○町名改稱竝區域變更公告中訂正

本月二十日本縣內務部發行公報ニ掲載シタル公告ノ訂正

（略）

第 8554 号　本文

同	三	四七ノ一	同	八一・四〇
同	二	四三ノ二	道路	四二七
白山		一〇六ノ六	畑	一四
同		一〇一	同	二一
同		八七ノ六	同	一三三
同		八七ノ一	同	三一三
同		一三二ノ一	宅地	一三七・〇九
同		一三〇ノ二	畑	四一九
同		一三四ノ一	道路	三合九勺
土居下		三二ノ二ノ一	田	二二
同		三二ノ二	畑	二一
同		三二ノ一	同	一一四
同		三二	宅地	五〇・四二
東陽	八	三〇	同	四〇二・〇〇
南外堀	六	一ノ一五	原野	二二一
同	同	一ノ一〇	同	一三〇一
同	一	七ノ五	川岸	一〇一四六
同	同	八ノ一	物揚場	一三九九五
同	六	一ノ一一	原野	二〇
同	同	一ノ一二	同	五
同	同	一ノ一三	同	五〇九
前津小林追堂		三七ノ角	道路	二一八

町名	丁目	地番
松元	二	三
西白山		三
樋ノ口	四	九
同	同	一一
同	同	一三
同	同	一〇
同	同	一二

東田	三	四七ノ一	同	八一・〇四
同	三	四三ノ二	道路	四二七
白山		一〇六ノ六	官用地	一四
同		一〇一	畑	一二四
同		八七ノ六	同	九〇四
同		八七ノ一	同	五〇九
同		一三二ノ一	宅地	一二六・六六
同		一三〇ノ二	畑	四〇九
同		一三四ノ二	道路	三合九勺
土居下		三二ノ二ノ一	軌道用地	二二
同		三二ノ二	同	二一
同		三二ノ一	同	一一四
同		三二ノ四	宅地	二六・四六
東陽	八	三〇	同	三四二・〇〇
南外堀	六	一ノ一五	道路	二二一
同	同	一ノ一〇	同	一三〇八
同	一	七ノ五	川岸	一一六・八五
同	同	八ノ一	物揚場	三九・九五
同	六	一ノ一一	道路	二〇
同	同	一ノ一二	同	五
同	同	一ノ一三	同	五〇九
前津小林追堂		三七ノ角	同	三二四

新町名	丁目	地番
松元	二	一
西白山		三
樋ノ口	四	一〇
同	同	一三
同	同	一四
同	同	一一
同	同	一三

（未完）

○村役場位置變更

玉名郡腹赤村役場位置ヲ今般大字清源寺字前田ニ變更セリ

明治四十四年十二月　熊本縣

○購買入札

第百三十一號　白絞油　一万升
第百三十二號　軟鋼管　六千二百三十本
第百三十三號　軟鋼鈑　六万瓩
以上本廠納

以上入札保證金各自見積代金百分ノ五以上（圓未滿切上ク）ヲ開札當日午前十時マテニ差出スヘシ

右購買ス入札望ノ者ハ明治四十五年一月十二日マテニ當廠會計課ニ就キ入札心得書、契約書案及標本品等熟覽ノ上同十三日午前十一時マテニ當廠ニ入札スヘシ即時開札ス但シ入札保證金及入札書ヲ郵送スルモ妨ナシ其手續ハ入札心得書ニ詳ナリ

此契約ハ東京砲兵工廠提理兵頭雅譽擔任ス

明治四十四年十二月二十三日　東京砲兵工廠

第二百四十二號　縦柾板　二千四百枚
第二百四十三號　松押角材　一万五千才
第二百四十四號　電燈球　四千箇

以上入札保證金各自入札金高百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

右購買ス入札望ノ者ハ明治四十五年一月七日マテニ營業證明書（年齡記入）携帶當廠會計課ニ就キ入札心得書、契約書案、見本、明細書及格例熟覽ノ上同九日午前十一時マテニ當廠ニ入札スヘシ即時開札ス但シ入札書ヲ郵送シ又ハ開札ニ立會ハサルモ妨ナシ其手續ハ入札心得書ニ詳ナリ

此契約ハ大阪砲兵工廠提理村岡恒利擔任ス

明治四十四年十二月二十三日　大阪砲兵工廠

一螺錐　百九十二箇
一「マニラ」麻製三打綱　千四百八十二瓩
一電線　二千五百米
一隔縁布　五百米
一粗製帆布　五千米
一杉板　千七百枚
一美濃紙　三廉

以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、契約保證金請負代價百分ノ十（圓未滿切上ケ圓止トス）、入札者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限ル

右購買ス入札望ノ者ハ當部計算課ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上明治四十五年一月十日午後一時限營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ同課ニ入札書差出スヘシ同時三十分同課ニ於テ開札ス

此契約ハ横須賀海軍工廠會計部長窪田重弐擔任ス

明治四十四年十二月二十三日　横須賀海軍工廠會計部

一杉電柱　二百三十二本　日田外五箇所納

以上入札保證金各自見積額百分ノ五以上、契約保證金落札代金百分ノ十以上（圓未滿切上ク）、入札者ハ滿二年以來其營業ニ從事シ且ツ明治四十一年五月遞信省令第二十四號ノ資格ヲ備フルヲ要ス

右購買ス入札望ノ者ハ入札前日マテニ當局調度課ニ就キ見本、仕樣書、圖面、入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上明治四十五年一月八日午前十時三十分マテニ入札保證金納入同十一時限入札書ヲ調度課ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ熊本遞信管理局長田中武雄擔任ス

明治四十四年十二月二十三日　熊本遞信管理局

○工事請負入札

一阪鶴線武田尾停車場構内官舍ニ山陰東線佐津香住間上計第四號假官舍ヲ移轉修繕　一棟　此建坪三十一坪五合
一同停車場構内工夫合宿所ニ山陰東線竹野佐津間訓谷第四號假官舍ヲ移轉修繕　外六廉　一棟　此建坪三十三坪

入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

右請負望ノ者ハ明治四十五年一月八日マテニ當局工務課ニ就キ入札人心得書、契約書案、示方書、圖面及現場等熟覽ノ上同九日午前十一時限入札書ヲ同課ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ西部鐵道管理局長長谷川謹介擔任ス

明治四十四年十二月二十三日　西部鐵道管理局

一横濱稅關衛橋新設工事　入札保證金各自見積金高百分ノ五以上

右請負望ノ者ハ當關庶務課ニ就キ入札規則、契約書案、仕樣書、繪圖面及現場等熟覽ノ上本月三十日午前十一時限入札書ヲ同課ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ横濱稅關長嘉納德三郎擔任ス

明治四十四年十二月二十三日　横濱稅關

一步兵第十六聯隊蒸汽炊爨場其他附屬建物新增及移轉改築工事

入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、契約保證金請負代價百分ノ十以上、入札者ハ二年以來其業ニ從事シ竝ニ明治四十一年陸軍省令第十三號ニ依ル資格アル旨市町村長ノ證明アル者ニ限ル此證明書ハ入札當日午前十時マテニ當部ニ差出スヘシ

右請負望ノ者ハ明治四十五年一月五日マテニ當部若クハ步兵第十六聯隊ニ就キ入札心得書、設計書、圖面、契約書案及現場熟覽ノ上同六日午前十一時限當部ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ第十三師團經理部長後藤謹作擔任ス

明治四十四年十二月二十三日　第十三師團經理部

一工業試驗所色染試驗場外二十一廉風水害復舊工事

入札保證金各自見積額百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

右請負望ノ者ハ當所ニ出頭圖面、仕樣書、入札心得書、契約書案及現場等熟覽ノ上明治四十五年一月八日午前十時限營業資格證明書及入札保證金ヲ添ヘ當所ニ於テ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ工業試驗所長技師工學博士高山甚太郎擔任ス

明治四十四年十二月二十三日　東京市深川區越中島町　工業試驗所

○入札拂下

一西洋紙反古　約二千貫目　保證金各自見積價格百分ノ十以上（圓未滿切上ク）

右賣却ス買受望ノ者ハ當課ニ就キ入札心得書及契約書案等熟覽ノ上明治四十五年一月十日午前十一時限入札書ヲ當課ニ差出スヘシ即時開札ス現品ハ同月九日午前十時ヨリ正午十二時マテノ內東京市麻布區富士見町內閣統計局ニ就キテ見ルヘシ

此契約ハ內閣書記官坂田幹太擔任ス

明治四十四年十二月二十三日　內閣會計課

一木造脚船（長サ七十五尺、幅二十四尺、深サ五尺）在姿ノ儘　一艘　山口縣豐浦郡彥島海岸渡

右明治四十五年一月八日計理課下關倉庫ニ於テ入札執行

入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

右賣却ス買受望ノ者ハ當局計理課下關倉庫ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上當日午前十一時入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ西部鐵道管理局長長谷川謹介擔任ス

明治四十四年十二月二十三日　西部鐵道管理局

第五十一號　鋼屑　五百十七瓩五百瓦
第五十二號　各種鑚　千五百五十二瓩五百瓦
第五十三號　黃銅鑚　三百三十一瓩八十瓦
第五十四號　鋼屑　三千六百四十七瓩
第五十五號　礬素灰交り塊外二點　內譯ノ通
第五十六號　青銅灰交り鑄滓外一點　內譯ノ通
第五十七號　黃銅灰交り岩外四點　內譯ノ通
以上本廠現在
第五十八號　黃銅交り鑄滓渣　五十車
第五十九號　異質交り酸化鉛　一万瓩
第六十號　硝酸曹達空袋　一山
第六十一號　紙屑　千五百瓩
第六十二號　黃銅切粉　二千二十九瓩
以上府下北豐島郡十條銃包製造所構內現在
第六十三號　柾樽脊板　六万瓩
右熱田兵器製造所現在

以上入札保證金各自見積代金百分ノ五以上（圓未滿切上ク）ヲ開札當日午前十時（第六十三號ノ分ハ午前九時三十分）マテニ差出スヘシ

右賣却ス買受望ノ者ハ明治四十五年一月十二日マテニ當廠會計課（第六十三號ハ熱田兵器製造所）ニ就キ入札心得書、契約書案及現品等熟覽ノ上同十三日午前十一時（第六十三號ハ午前十時）マテニ當廠（第六十三號ハ熱田兵器製造所）ニ入札スヘシ即時開札ス但シ入札保證金及入札書ヲ郵送スルモ妨ナシ其手續ハ入札心得書ニ詳ナリ

此契約ハ東京砲兵工廠提理兵頭雅譽擔任ス

明治四十四年十二月二十三日　東京砲兵工廠

正誤

昨二十二日本欄通俗圖書認定ノ項中五五三頁上段三十四行東京、弘道館ハ同同下段十四行同、ハ東京〇〇〇育成會ノ誤モ報告誤　文部省參事官

本月十一日本欄字名改稱竝區域變更ノ項中二七九頁二段廣瀨ノ部南ハ第七ノ下ニ號ノ字ヲ脫ス第六號第十五號ノ下瀦溉支渠ハ瀦排支渠二八〇頁二段松井ノ部南ハ第八號ノ下瀦溉排支渠ハ瀦排支渠ノ誤モ誤（以上報告誤）　京都府事務官

○商業登記

古河鑛業會社商號變更登記

一明治四十四年十一月二十七日商號ヲ左ノ如ク變更ス

一商號　古河合名會社

明治四十四年十二月十四日登記

右公告ス

在清國上海　帝國總領事館

商業登記變更

一日清汽船株式會社監査役左記三名ハ明治四十四年十一月二十五日重任セリ

岡山縣淺口郡長尾村大字長尾二千百六十番地　田邊爲三郎
東京市神田區淡路町二丁目七番地　男爵有地品之允
大阪市東區南久太郎町二丁目百六番屋敷　杉村正太郎

明治四十四年十二月九日登記

右公告ス

在清國漢口　帝國總領事館

株式會社臺灣銀行登記事項中左ノ通變更ス

一頭取柳生一義ハ任期滿了ノ處明治四十四年十一月二十五日重任シタリ

右明治四十四年十二月六日登記

在清國廈門　帝國領事館

日本洋紙合資會社登記事項中左ノ如ク追加及變更ス

一解散ノ事由及年月日　社員ノ總會ノ決議ニ因リ明治四十四年十二月十一日解散ス

一清算人ノ氏名住所
東京市日本橋區蠣殼町三丁目十二番地　岡田末吉
同市神田區鈴木町十六番地　梶川可也

一明治四十四年十二月十一日大阪市北區堂島船大工町五十三番地ノ支店ヲ廢止セリ

千歲合名會社登記事項中左ノ如ク變更ス

一社員中澤仁右衛門ハ明治四十四年十二月十八日持分全部ヲ中野淺吉ニ讓渡シテ退社シ讓受ケタル者同日入社ス

金八百五十圓　東京市京橋區松屋町三丁目五番地　中野淺吉

合資會社二宮商店登記事項中左ノ如ク變更ス

一明治四十四年十二月十五日本店ヲ左ノ所ニ移轉ス

一本店　東京市下谷區南稻荷町六十三番地

合資會社六欄社登記事項中左ノ如ク追加ス

一清算結了ノ年月日　明治四十四年十二月十五日

合資會社東亞商會登記事項中左ノ如ク變更ス

一明治四十四年十二月十八日目的ヲ左ノ如ク變更ス

一目的　抵當貸金信用貸金ヲ爲シ副業トシテ信託業ヲ營ム

株式會社下野銀行登記事項中左ノ如ク變更ス

一取締役矢口長右衛門ハ明治四十四年十二月四日死亡セリ

株式會社富國銀行登記事項中左ノ如ク變更ス

一各株ニ付拂込ミタル株金額ヲ金三十七圓五十錢ト變更セリ

有隣生命保險株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス

一取締役田中安七額龍三後藤住寶井口半兵衛ハ明治四十四年十二月八日辭任セリ

一監査役石川錦一郎磯貝浩ハ明治四十四年十二月八日辭任セリ

横濱酒精株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス

一取締役高橋德之助ハ明治四十四年十二月十三日辭任セリ

第8554号　本文

第 8554 号　本文

第8554号 本文

一監事ノ氏名住所
同所四千百三十一番地 名越時太郎
同村大字甲弩二千百五十七番地 森本伴次郎
同所五百四十九番地 都城秋太郎
同所二千五百九十三番地 岡林政平
岡山縣小田郡北川村大字走出三千七百八十二番地 原田新四郎
同所千百二十六番地 渡邊基
同村大字甲弩千百番地 池田德太郎
同所二百五十九番地 茅原桂太郎
十 存立ノ時期 十五箇年
右明治四十四年十二月十六日登記
笠岡區裁判所矢掛出張所

無限責任金武村販賣購買信用組合監事任期滿了ニ付明治四十四年十一月二十九日組合員通常總會ニ於テ改選ノ結果沖繩縣國頭郡金武村字屋嘉千二百八十一番地前田次吉、同縣同郡同村字金武三百八十三番地新里眞清當選セリ
右明治四十四年十二月十二日登記
那覇區裁判所名護出張所

有限責任大鰐信用組合登記事項中左記ノ通變更ス
一監事田中喜一郎ハ其名字ヲ棠四郎ト改稱ス
右明治四十四年十二月十八日登記
弘前區裁判所藏館出張所

○漁業組合登記

一名稱 北方町漁業組合
一事務所 橫濱市北方町二百五十四番地
一目的 本組合ハ漁業權ヲ享有及行使シ組合員共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス
一設立許可年月日 明治三十六年五月十六日
一地區 本組合ノ地區 橫濱市北方町ノ區域ニ依ル
一理事 橫濱市北方町二百五十四番地 佐藤清八
一監事 同市同町百八十四番地 久保平吉
一名稱 橫濱漁業組合
一事務所 橫濱市松影町二丁目五十二番地
一目的 本組合ハ漁業權ヲ享有及行使シ組合員共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス
一設立許可年月日 明治三十五年十二月十五日
一地區 本組合ノ地區ハ橫濱市ノ內明治三十四年三月末日現在ノ舊橫濱市一圓ヲ區域トス
一理事 橫濱市松影町二丁目五十二番地 森野龍定
同市平沼町一丁目八番地 若林武八郎
一監事 同市長者町五丁目五十三番地 黑川房次郎
同市平沼町一丁目一番地 海老塚留吉
同市元町三丁目百十七番地 石渡留次郎
右明治四十四年十二月十五日登記
橫濱區裁判所

名稱成生漁業組合 事務所京都府加佐郡東大浦村字成生六百二十六番地 目的漁業權ヲ享有行使シ組合員共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス 設立許可ノ年月日明治三十六年一月十日 地區加佐郡東大浦村字成生 理事ノ氏名住所加佐郡東大浦村字成生二十二番戶上野定吉 監事ノ氏名住所加佐郡東大浦村字成生十番戶水島岩吉
右明治四十四年十二月十八日登記
舞鶴區裁判所新舞鶴出張所

漁業組合登記變更
愛知縣知多郡龜崎町大字龜崎字上西六十二番地龜崎漁業組合登記事項中左ノ通變更ス
一監事任期滿了ニ付明治四十四年十二月五日臨時總會ヲ開キ選擧ノ結果左記ノ者再選重任セリ
知多郡龜崎町大字龜崎千四十四番戶 稻生勝次郎
以上明治四十四年十二月十八日登記
右公告ス
明治四十四年十二月十八日
半田區裁判所

漁業組合設立登記
一名稱 奧田漁業組合
一事務所 知多郡野間村大字奧田字儀路五番地
一目的 漁業權ヲ享有及行使シ組合員共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス
一地區 知多郡野間村大字奧田ノ區域ニヨル
一設立許可年月日 明治三十六年六月十八日
一存立時期 定メナシ
一理事及監事ノ住所氏名
理事 知多郡野間村大字奧田二百六十八番戶 田口定次郎
監事 同郡同村同大字七番戶 野田彥助
明治四十四年十二月十四日登記
右公告ス
明治四十四年十二月十四日
半田區裁判所內海出張所

漁業組合設立登記
一名稱 河和浦漁業組合
一事務所 知多郡河和町大字河和字南屋敷四十七番第一地
一目的 漁業權ヲ享有及行使シ組合員共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス
一設立許可ノ年月日 明治三十六年六月四日
一地區 知多郡河和町大字河和ノ區域ニ依ル
一理事及監事ノ氏名住所
理事 知多郡河和町大字河和二百四十七番戶 片岡鋠吉
監事 同郡同町同大字二百五十七番戶 磯貝幸治郎
一存立ノ時期 無期限
明治四十四年十二月十五日登記
右公告ス
明治四十四年十二月十五日
半田區裁判所內海出張所

漁業組合設立登記
一名稱江角漁業組合 一事務所八束郡惠曇村大字江角四百番地 一目的漁業權ヲ享有及行使シ組合員共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス 一設立許可ノ年月日明治四十年四月二十九日 一地區八束郡惠曇村大字江角ノ區域ニ依ル 一理事ノ氏名住所八束郡惠曇村大字江角四百番地安達清太郎 一監事ノ氏名住所同所四百八十二番地安達岩次郎
一名稱古浦漁業組合 一事務所八束郡惠曇村大字古浦百二十六番地 一目的漁業權ヲ享有及行使シ組合員共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス 一設立許可ノ年月日明治四十年四月二十九日 一地區八束郡惠曇村大字古浦ノ區域ニ依ル 一理事ノ氏名住所八束郡惠曇村大字古浦百二十六番地山本太右衛門 一監事ノ氏名住所同所七十九番地青山慶之助
一名稱手結漁業組合 一事務所八束郡惠曇村大字手結千二百九十一番地 一目的漁業權ヲ享有及行使シ組合員共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス 一設立許可ノ年月日明治四十年四月八日 一地區八束郡惠曇村大字手結ノ區域ニ依ル 一理事ノ氏名住所八束郡惠曇村大字手結千百六十五番地橋本善太郎 一監事ノ氏名住所同所千三百二十四番地安達善太郎
一名稱片句漁業組合 一事務所八束郡惠曇村大字片句三百三十五番地 一目的漁業權ヲ享有及行使シ組合員共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス 一設立許可ノ年月日明治四十年四月十二日 一地區八束郡惠曇村大字片句ノ區域ニ依ル 一理事ノ氏名住所八束郡惠曇村大字片句三百三十五番地山本治左衛門 一監事ノ氏名住所同所三百二十五番地山本龜三郎
右明治四十四年十二月十六日登記
松江區裁判所秋鹿出張所

漁業組合設立登記登記番號第三號
一名稱 白前浦漁業組合
一主タル事務所 巖手縣九戶郡侍濱村大字白前十八番戶
一目的 漁業權ヲ享有及行使シ又ハ漁業權ノ貸付ヲナシ組合員ノ漁業ニ關スル共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス
一設立許可ノ年月日 明治三十六年一月二十四日
一地區 巖手縣九戶郡侍濱村大字白前
一理事ノ氏名住所 巖手縣九戶郡侍濱村大字白前十八番戶菅原隆 同縣同郡同村同大字十三番戶菅原岩吉 同縣同郡同村同大字六番戶大西熊次郎

一監事ノ氏名住所 巖手縣九戶郡侍濱村大字白前二十五番戶田中八太
登記番號第四號
一名稱 久喜濱漁業組合
一主タル事務所 巖手縣九戶郡宇部村二百九十五番戶
一目的 漁業權ヲ享有行使シ組合員共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス
一設立許可ノ年月日 明治三十六年二月十七日
一地區 巖手縣九戶郡宇部村字久喜
一理事ノ氏名住所 巖手縣九戶郡宇部村二百九十五番戶坂本與平 同縣同郡同村二百六十五番戶坂本六藏 同縣同郡同村二百六十八番戶廣崎熊藏
一監事ノ氏名住所 巖手縣九戶郡宇部村乙二百五十七番戶仲村卯之松 同縣同郡同村三百十五番戶坂本勘之助
右明治四十四年十二月十三日登記
福岡（盛岡地方裁判所管內）區裁判所久慈出張所

○禁治產宣告

埼玉縣北埼玉郡岩瀨村大字上岩瀨三十五番地平民無業　鈴木一郎
明治二十年十二月三日生
右ニ對シ埼玉縣北埼玉郡岩瀨村大字上岩瀨三十五番地鈴木燮太郎ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ明治四十四年十二月十九日禁治產ノ宣告ヲ爲シタリ
明治四十四年十二月十九日
熊谷區裁判所
判事　岡澤米吉郎

○準禁治產宣告

本籍東京市日本橋區大傳馬町一丁目四番地平民藤助長男
住所同市淺草區金龍山瓦町二十五番地石崎ます方無職　石崎彥太郎
明治二十四年一月一日生
右ニ對シ東京市日本橋區大傳馬町一丁目四番地石崎藤助ノ申立ニヨリ當區裁判所ハ明治四十四年十二月十二日準禁治產ノ宣告ヲ爲シタリ
明治四十四年十二月十八日
東京區裁判所
判事　唐橋信言

宮崎縣宮崎郡那珂村大字東上那珂一万三千七百六十三番地ノ一平民農　圖師惣右衛門　明治十六年二月十日生
右ノ者ニ對シ實母ケサノ申立ニ因リ浪費者ト認メ準禁治產ヲ宣告シタリ
明治四十四年十二月十六日
宮崎區裁判所
判事　尾家仁六

○準禁治產宣告取消

靜岡縣小笠郡相草村赤土五十六番地平民農　塚本賢次郎
明治二十一年九月七日生
右ニ對シ明治四十一年十一月十日當區裁判所ノ宣告シタル準禁治產ハ塚本平六ノ申立ニ因リ明治四十四年十二月十二日之ヲ取消シタリ
明治四十四年十二月二十日
掛川區裁判所
判事　北島唯一

巖手縣二戶郡金田一村大字金田一字下山井九十六番地　栗野市太郎
右ノ者ニ對シ明治三十八年十二月八日當區裁判所ノ爲シタル準禁治產ノ宣告ハ父八藏ノ申立ニ依リ之ヲ取消シタリ
明治四十四年十二月十九日
福岡區裁判所
判事　牧野襄一

○公示催告

明治四十四年（ヘ）第五三號
東京市牛込區早稻田南町九番地伊藤政重方
申立人　伊藤マサ
證書第六五三號爲替手形
金額　金五百圓也
振出人　株式會社臺灣銀行
支拂人　株式會社臺灣銀行東京出張所
受取人　伊藤マサ又ハ持參人
振出年月日　明治四十四年九月二十九日
滿期日　一覽拂
支拂地　東京市日本橋區吳服町一番地
右證書ニ付キ前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其所持人ハ明治四十五年三月十九日午前九時迄ニ當裁判所ニ權利ヲ屆出テ且ツ右證書ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出及提出ヲ爲サヽルニ於テハ其無效ヲ宣言スルコトアルヘシ
明治四十四年十二月十九日
東京區裁判所
判事　山口善六

千葉縣夷隅郡大原町一万五百八十七番地平民不在者　莊司安藏
明治十五年十一月十五日生
右ニ對シ利害關係人莊司喜助ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付キ不在者ハ明治四十五年七月十日午前十時迄ニ當裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲スヘシ
明治四十四年十二月十九日
一宮本鄉區裁判所
判事　落合通勝

石川縣鹿島郡崎山村字鵜浦九ノ三十四番地平民船乘業不在者　藤岡太次郎　安政五年七月十八日生
右ニ對シ利害關係人藤岡みやヨリ右不在者ニ對シ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付キ不在者ハ明治四十五年七月二十日マテニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ノ宣告ヲ受クヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日マテニ其屆出ヲ爲スヘシ
明治四十四年十二月十九日
七尾區裁判所
判事　杉江重義

島根縣簸川郡日御碕村大字宇龍四十八番屋敷平民漁業不在者　小村佐十
右ノ者ニ對シ利害關係人小村節之助ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ明治四十四年六月二十九日午前八時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日マテニ其屆出ヲ爲スヘシ
明治四十四年十二月十八日
今市區裁判所
判事　中島正堅

大分縣西國東郡西都甲村大字荒尾百三十八番地平民無職業
不在者　宇野元雄
明治十五年二月三日生
右ニ對シ實父宇野玄盛ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ明治四十五年六月二十一日午前十時マテニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘシ若シ其屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ノ宣告ヲ爲ス又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲スヘシ
明治四十四年十二月十八日
玉津區裁判所
判事　長友宗敬

○失踪宣告

靜岡縣濱松市旅籠無番地士族無業
不在者　黑田勝彌
明治五年十一月五日生
右ニ對シ靜岡縣賀茂郡下河津村縄地十七番地黑田つねノ申立ニ因リ當裁判所ハ明治四十四年十二月十六日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
濱松區裁判所
判事　大橋樹太郎

○除權判決公告中訂正

以本年
付上明治二
更正四月二
ス 四十九日條式官報行ノ中立ニ掲ケタル除權判決公告中四行目
四日條式官報第二〇五七號ノ下明治四十四年四月廿日以降利札付ノ分ハ舊ノ
月廿日以降利札付ノ分ハ舊ノ通リ取扱フヘシ

龍野銀行所

○華族止戸財産解除

右ニ掲ケ
子四名ノ
除合併ニ
相良男爵
馬別邸ニ
馬所有敷
ノ歩ニ
地處分ニ
屋敷ニ
叮嚀ニ
明治四十
四年十二
月十八日

宮内大臣　ヨリ　城邊　ヘ　照會

○朝鮮銀行參與行週報

朝鮮銀行參與行平均
自同治四十四年十二月十六日

	朝二、三五、三八
銀	〇、九〇、五三七、〇〇〇
行	〇、六四七、〇〇〇
券	九四七、〇〇〇

朝鮮銀行

○郵便物ノ航空輸送

今二十三日神戸ヲ汽船郵送同地ヨリ「ストラリア」ニ轉ジ以テ上海經由香港及歐洲ヘ差立ノ郵便物ハ左記ノ時刻ニ締切ル

常通	書留通	小包	香港	爲替	小額	送金	香港	爲替	小額	送金
同時二十分	同時二十分	同時二十分	同時二十分	同時二十分	同時二十分	同時二十分	同時二十分	同時二十分	同時二十分	同時二十分
午前十一時	午前十一時	午前十一時	午前十一時	午前十一時	午前十一時	午前十一時	午前十一時	午前十一時	午前十一時	午前十一時
發	發	發	發	發	發	發	發	發	發	發

（備考）小包ハ香港、樂及歐洲宛トス

○同上締切時刻告

一本月中外國郵便物締切發送日左ノ如シ

一	タイマル	郵由佛領米國宛	二十六日頃締切ノ筈
一	バンクーバー	郵由同	二十七日頃締切ノ筈
一	同	同	二十七日頃締切ノ筈
一	南米諸國宛		二十九日頃締切ノ筈

一 西南米諸國宛ノ郵便物ハ當廳ニ於テ取扱ヒ當地ヨリ毎週木曜日午後七時ヲ以テ發送ス

一 英領印度、佛領印度、蘭領印度、佛領「インドシナ」、英領「ボルネオ」、「セレベス」、「ニューギニア」、「ボルネオ」、「フィリピン」、「ハワイ」、「グアム」、「サモア」、「ニューカレドニア」、「タヒチ」、「ニューヘブリデス」、「ソロモン」、「ビスマルク」諸島、「ニュージーランド」、「オーストラリア」、「タスマニア」、「ノーフォーク」島、「ニューカレドニア」、「タヒチ」、「ニューヘブリデス」、「ソロモン」、「ビスマルク」諸島、「ニュージーランド」、「オーストラリア」、「タスマニア」、「ノーフォーク」島宛ノ郵便物ハ當廳ニ於テ取扱ヒ當地ヨリ毎週木曜日午後七時ヲ以テ發送ス

一 上海、香港、印度、英領「ボルネオ」、「セレベス」、「ニューギニア」、「ボルネオ」、「フィリピン」、「ハワイ」、「グアム」、「サモア」、「ニューカレドニア」、「タヒチ」、「ニューヘブリデス」、「ソロモン」、「ビスマルク」諸島、「ニュージーランド」、「オーストラリア」、「タスマニア」、「ノーフォーク」島宛ノ郵便物ハ當廳ニ於テ取扱ヒ當地ヨリ毎週水曜日午後七時ヲ以テ發送ス

○郵便爲替貯金振替貯金

日本郵船株式會社汽船出發表

船名	行先	出發	摘要
香港丸	神戸	本月二十三日午前十一時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡
馬耳塞丸	倫敦	本月二十三日午後六時	神戸出帆同上
蘇士丸	馬耳塞倫敦	一月五日正午十二時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡
「ポートサイド」丸	「ポートサイド」	一月十日午前十一時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡
「ロンボク」丸	「ロンボク」	一月十三日午後六時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡
「ポートサイド」丸	「ポートサイド」	一月十七日正午十二時	神戸出帆同上
「ロンボク」丸	「ロンボク」	一月二十日午前十一時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡
「ポートサイド」丸	「ポートサイド」	一月二十四日正午十二時	神戸出帆同上
「ロンボク」丸	「ロンボク」	一月二十七日午後六時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡
「ポートサイド」丸	「ポートサイド」	一月三十一日正午十二時	神戸出帆同上
「ロンボク」丸	「ロンボク」	二月三日午後六時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡
「ポートサイド」丸	「ポートサイド」	二月七日正午十二時	神戸出帆同上
「ロンボク」丸	「ロンボク」	二月十日午後六時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡
「ポートサイド」丸	「ポートサイド」	二月十四日正午十二時	神戸出帆同上
「ロンボク」丸	「ロンボク」	二月十七日午後六時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡
「ポートサイド」丸	「ポートサイド」	二月二十一日正午十二時	神戸出帆同上
「ロンボク」丸	「ロンボク」	二月二十四日午後六時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡
「ポートサイド」丸	「ポートサイド」	二月二十八日正午十二時	神戸出帆同上
「ロンボク」丸	「ロンボク」	三月二日午後六時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡
「ポートサイド」丸	「ポートサイド」	三月六日正午十二時	神戸出帆同上
「ロンボク」丸	「ロンボク」	三月九日午後六時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡
「ポートサイド」丸	「ポートサイド」	三月十三日正午十二時	神戸出帆同上
「ロンボク」丸	「ロンボク」	三月十六日午後六時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡
「ポートサイド」丸	「ポートサイド」	三月二十日正午十二時	神戸出帆同上
「ロンボク」丸	「ロンボク」	三月二十三日午後六時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡
「ポートサイド」丸	「ポートサイド」	三月二十七日正午十二時	神戸出帆同上
「ロンボク」丸	「ロンボク」	三月三十日午後六時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡
「ポートサイド」丸	「ポートサイド」	四月三日正午十二時	神戸出帆同上
「ロンボク」丸	「ロンボク」	四月六日午後六時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡
「ポートサイド」丸	「ポートサイド」	四月十日正午十二時	神戸出帆同上
「ロンボク」丸	「ロンボク」	四月十三日午後六時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡
「ポートサイド」丸	「ポートサイド」	四月十七日正午十二時	神戸出帆同上
「ロンボク」丸	「ロンボク」	四月二十日午後六時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡
「ポートサイド」丸	「ポートサイド」	四月二十四日正午十二時	神戸出帆同上
「ロンボク」丸	「ロンボク」	四月二十七日午後六時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡
「ポートサイド」丸	「ポートサイド」	五月一日正午十二時	神戸出帆同上
「ロンボク」丸	「ロンボク」	五月四日午後六時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡
「ポートサイド」丸	「ポートサイド」	五月八日正午十二時	神戸出帆同上
「ロンボク」丸	「ロンボク」	五月十一日午後六時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡
「ポートサイド」丸	「ポートサイド」	五月十五日正午十二時	神戸出帆同上
「ロンボク」丸	「ロンボク」	五月十八日午後六時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡
「ポートサイド」丸	「ポートサイド」	五月二十二日正午十二時	神戸出帆同上
「ロンボク」丸	「ロンボク」	五月二十五日午後六時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡
「ポートサイド」丸	「ポートサイド」	五月二十九日正午十二時	神戸出帆同上
「ロンボク」丸	「ロンボク」	六月一日午後六時	神戸出帆門司上海香港新嘉坡

○郵便爲替貯金振替貯金

今二十三日發刊廣告ハ頁

第 85554 号　本文

官報第八千五百五十四號附錄

明治四十四年十二月二十三日

○廣告

○商業登記

金町製瓦株式會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役野澤泰次郎ハ明治四十四年十二月五日辭任セリ
明治四十四年十二月十八日登記　東京區裁判所新宿出張所

株式會社川崎共立貯蓄銀行變更事項
一本店　橘樹郡川崎町新宿百三十五番地
右明治四十四年十二月十五日登記　横濱區裁判所川崎出張所

株式會社駿東實業銀行變更事項
一各新株拂込株金額　金三十七圓五十錢
右明治四十四年十二月十五日登記　横濱區裁判所藤澤出張所

合資會社登記第六號
一商號合資會社牧野養蠶機械會　一本店印旛郡六合村瀬戸一三六〇番地　一目的蠶具ノ製造販賣　一設立ノ年月日明治四十四年十二月十八日　一存立時期設立ノ日ヨリ滿二十箇年　一社員ノ住所氏名出資ノ種類價格及責任印旛郡六合村瀬戸一三六〇番地金千五百圓無限牧野牛四郎　靜岡縣磐田郡袖浦村東平松三〇番地金二千五百圓無限牧野藤太郎　同郡十束村宮本一九四番地金三千五百圓有限川井嘉平　同縣濱名郡和田村北島五四番地金千五百圓有限村松啓次郎　同縣磐田郡袖浦村東平松三〇番地金五百圓有限牧野高次郎　同郡掛塚町川袋一二一番地金五百圓有限內山猪八
右明治四十四年十二月十八日登記　佐倉區裁判所竹袋出張所

株式會社栃木銀行鹿沼支店登記事項中左ノ通變更ス
一取締役阿部幸七ハ明治四十四年十二月九日死亡ス
右明治四十四年十二月十八日登記　宇都宮區裁判所鹿沼出張所

株式會社栃木銀行岩舟支店登記事項中左ノ通變更ス
一取締役阿部幸七ハ明治四十四年十二月九日死亡ス
右明治四十四年十二月十八日登記　栃木區裁判所甲出張所

株式會社登記簿第十五號
明治四十四年十二月十四日上毛倉庫株式會社登記事項中左ノ通變更ス
取締役新選　前橋市新町八十二番地　江原桂三郎
右明治四十四年十二月十八日登記ス　前橋區裁判所

株式會社登記變更
株式會社協育社登記事項中左ノ通變更ス　明治四十四年十二月七日一株ニ付金六圓二十五錢宛拂込結了シタルニ依リ各新株ニ付拂込ミタル株金額ヲ金十八圓七十五錢ト變更ス
右明治四十四年十二月十八日登記　掛川區裁判所平田出張所

山梨養蠶紙張製造合資會社登記事項中明治四十四年十二月十七日清算結了セリ
明治四十四年十二月十八日登記　鰍澤區裁判所鰍川出張所

合資會社設立登記　一、商號、合資會社細田商會、一、本店、長野縣下伊那郡會地村三百三十五番地、一、目的、米穀肥料販賣業、一、設立ノ年月日、明治四十四年十二月一日、一、代表社員ノ氏名、細田恒太郎、一、社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任、一、金一千圓外ニ木造板葺二階家一棟及什器々具此見積價格金二百圓無限責任長野縣下伊那郡會地村三百三十五番地細田恒太郎、一、金四百圓有限責任同縣同郡同村同番地細田美津る、一、金四百圓有限責任同縣同郡同村三百七番地三浦惠吉、一、存立ノ時期、設立ノ日ヨリ滿十箇年
右明治四十四年十二月十三日登記　飯田區裁判所駒場出張所

商號登記第二號
一商號柳澤商店一營業ノ種類肥料類、米穀、小間物、洋酒類、鑵詰類、學校用品類、石油其他油類、砂糖、藥品、足袋、下駄類、魚類、雜貨類一營業所長野縣小縣郡禰津村大字禰津東町千二百八十九番イロハ號合併地一商號使用者ノ氏名住所小縣郡禰津村大字禰津東町千二百八十九番イロハ號合併地柳澤のい
右明治四十四年十二月十五日登記
明治四十四年十二月十六日　上田區裁判所田中出張所

株式會社登記簿第一號
一商號　株式會社本間商會
一本店　三島郡寺泊町大字寺泊九百十壹戸
一目的　運送、鑵詰製造、物品販賣、委託販賣、倉庫、請負、貸金、代辦業
一設立ノ年月日　明治四十四年十一月二十六日
一資本ノ總額　金二万五千圓
一一株ノ金額　金五十圓
一各株ニ付拂込ミタル株金額　金十二圓五十錢
一公告ヲ爲ス方法　所轄裁判所ノ公告スル新聞ヲ以テス
一取締役ノ氏名住所
三島郡寺泊町大字寺泊八千百三十六番地　武澤茂一郎
同郡同町同大字二百七十三番戸　青柳平五郎
同郡同町同大字千六番戸　佐藤卯之七
同郡同町大字野積百九十番地　伊藤彥七
一監査役ノ氏名住所
三島郡寺泊町大字寺泊七千六百十五番地　佐野源之助
同郡同町同大字九百五番戸　大越禮五郎
明治四十四年十二月十六日登記　長岡區裁判所寺泊出張所

株式會社高田大漁座登記事項中取締役並監査役滿期改選ニ因リ取締役ハ木治助、吉原和助、宮村宜吉、神林長右衛門監査役瀧川政良、太田源藏ハ再選重任セリ
高田羽二重株式會社登記事項中取締役高橋文太郎ハ明治四十四年十一月二十八日死亡セリ
右明治四十四年十二月十八日登記　高田（新潟地方裁判所管內）區裁判所

商號㊂入江組運送店ハ前使用者森岡房治郎死亡ニ依リ宇智郡五條町大字五條六百四十二番地森岡芳太郎カ取得ス
右明治四十四年十二月十五日登記　五條區裁判所

株式會社飾措銀行第二支店株金拂込登記　明治四十四年十二月六日第二回拂込トシテ新株式二千株ニ對シ一株ニ付金十五圓宛拂込結了シ一株ノ拂込額金二十七圓五十錢ト變更セリ
右明治四十四年十二月十六日登記　龍野區裁判所斑鳩出張所

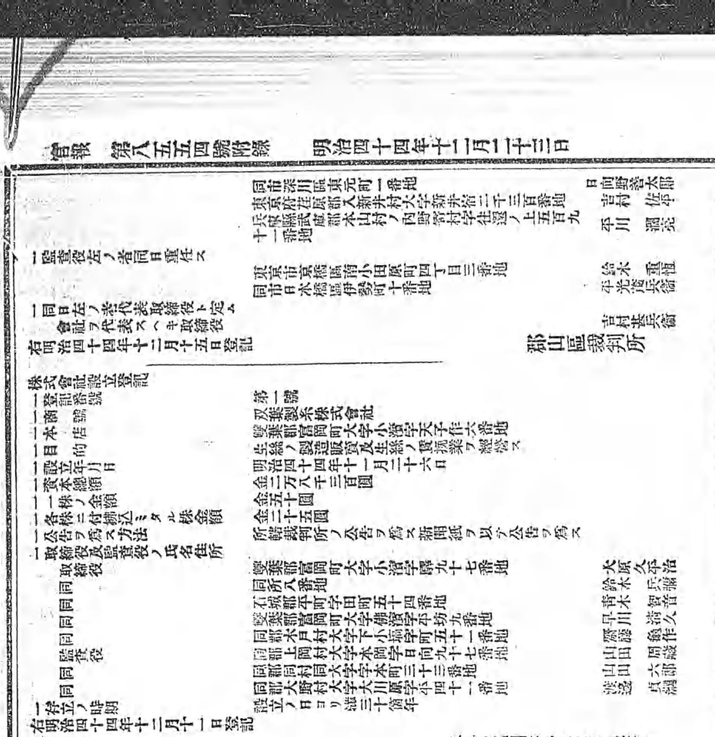
大津海陸物產株式會社　各株ニ付拂込ミタル株金額金二十圓ト變更
右明治四十四年十二月十六日登記　大津區裁判所

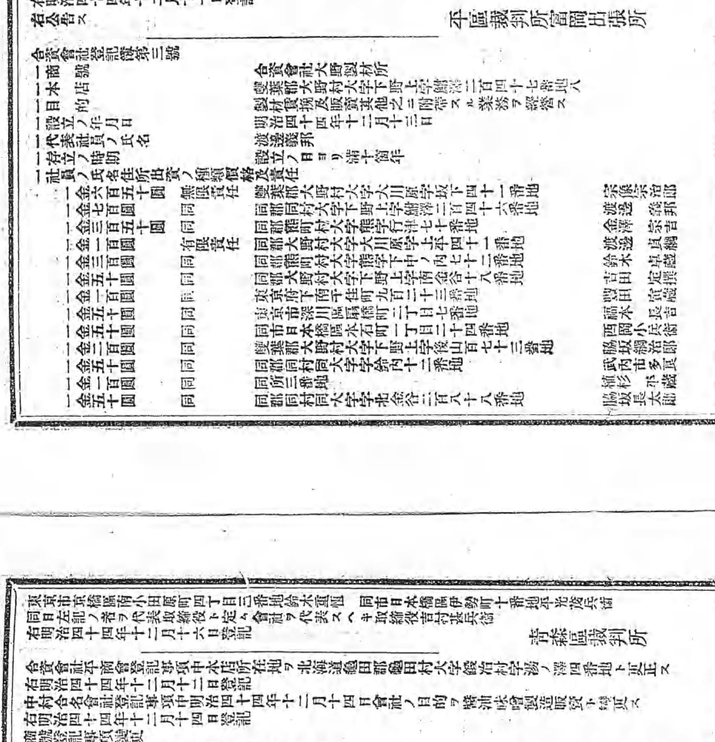
支配人選任登記支配人ノ氏名住所東牟婁郡勝浦町一一八一番地鈴木味尺主人ノ氏名住所東牟婁郡那智村大字天滿二〇三番地那智水力電氣株式會社主人ノ營業電燈及電力供給附帶事業トシテ器具販賣業ヲ營ム支配人ノ用ユヘキ商號那智水力電氣株式會社支配人ヲ置キタル場所東牟婁郡那智村大字天滿二〇三番地
右明治四十四年十二月十五日登記　新宮區裁判所天滿出張所

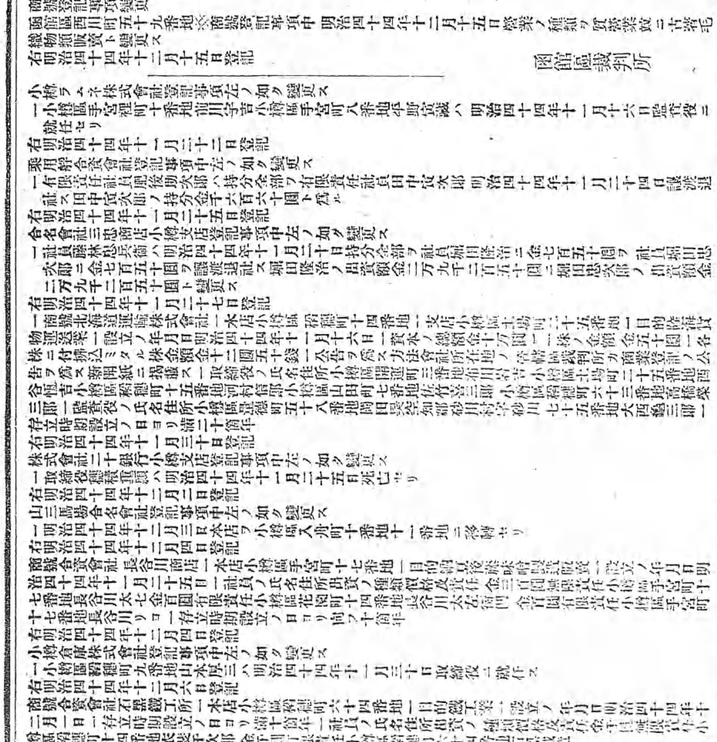
第8554号 付録

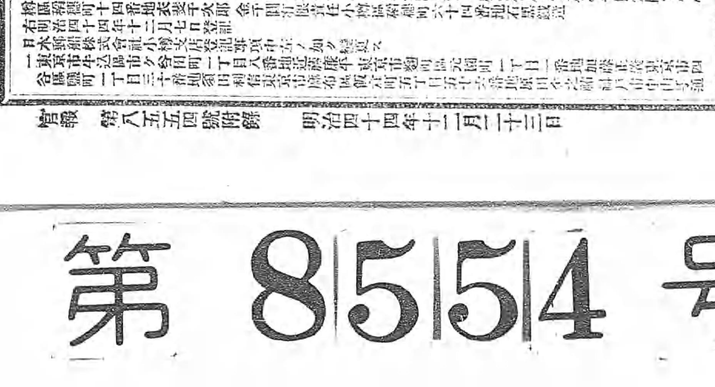
付録

第 85514 号　付録









第 8554 号　付録

○法人登記

○産業組合登記

第 8554 号 付録

第 8554 号　付録